

2018.vol.57
no.701





Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —



日ごとに厳しさを増す、短納期ニーズや品質管理要求に応える印刷の現場。

RMGT の自動化・省力化技術は人を^{たす}援け、時間と労力を費やす作業を代行します。

そこで生まれる余力こそ、創造性を発揮するエネルギー。RMGT は、技術力と創造力で、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

そして、人が中心になって機械や技術を使いこなす世界を目指します。



RMGT 940ST-4
LED-UV、印刷品質管理システム PQS-D(I+C) 搭載



ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

東日本支社 〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8 TEL 03-3927-1031

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

東グラ 7 CONTENTS

2018.vol.57 no.701

03 ■シリーズ「駅にまつわる話」⑩

津田沼

吉野 玲緒(東京グラフィックス事務局)

04 ■特集：データで読む「東京の印刷業」

東京の「印刷・同関連業」
製造品出荷額等が1兆円割れ

14 ■連載：こころときめく営業のための道しるべ⑩

お客様がひそかに感動する瞬間

株式会社ビジネスコミュニケーション研究所 代表取締役 田中 信一

15 ■連載：リスクマネジメントと個人情報保護⑤⑥

パスワードの定期変更「不要」について

18 ■連載：元CAが教える「エグゼクティブSTYLE」④

CAに好かれるタイプと
嫌われるタイプの決定的な違い

株式会社TFSマナー&EDUCATION 代表取締役 山本洋子

20 ■健康プロムナード

白板症の症状と原因

医療法人社団 同友会(東京グラフィックス賛助会員)編

23 ■業界NOW

24 ■東京グラフィックス青年部FACE

設立30周年記念祝賀会を挙行

26 ■東グラNEWS

28 ■ジャグラ福岡大会に東京グラフィックスから53人が参加

29 ■理事会報告

30 ■委員会報告

31 ■東グラ・クロニクル(平成30年5月)

軽オフセット印刷・製本の スペシャリスト！

モノクロ印刷ならイナミツ印刷

- 印刷から製本まで安心の自社一貫生産ライン
- 無線綴じも針綴じも、充実した製本設備
- 小・中ロット、大量ページの印刷物に強い！
- PDF 入稿、紙版下入稿、どちらでも OK！

高品質

低価格

短納期



inamitsu
insatsu

株式会社イナミツ印刷

本社：東京都品川区東品川 1-17-2

TEL:03-3471-6010 FAX:03-3471-6345

ホームページからお気軽にお問い合わせください→



プリントメディアの総合商社

SHOWA

そろそろこのマシンもガタがきてるな… 何か新しいことを始めないと… 最近の技術についていけない…
うちも本気でカラーマネージメントをやらないと…
次の基幹システムはどうしよう… そろそろ買い替え時だな…
よその会社はどうしてるんだろう…
新システムを導入しても、使いこなせてないな… **やばい！また感材がきれてる…**
また発注ミスが… お客様との連携がうまくないな… もう少し効率よくできないものか…
最近トラブル続きだな… **またクレームだ…**
何か新しい提案ができないかな… 負担をもう少し減らせないものか…



そんな悩みを

ショークが解決します！

機資材 + 技術サービス + システムサービス + コンサルティング

ショークなら…

- ★アフターフォローも万全
- ★ユーザー会で密に情報交換
- ★創業90年の実績
- ★軽快なフットワークが自慢
- ★提案型営業でしっかりサポート

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショークユーザー会

コラボレーション&リサーチ
「SHOWA会」

へのお誘い

— 年間の活動 —

- 研修会 ●工場見学会 ●総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ●有志グループ活動

①お問い合わせ、入会お申し込みは事務局まで

SHOWA会 事務局

TEL: 03-3263-6141
FAX: 03-3263-6149

一歩先ゆく

株式会社
ショーク

〒101-0065

東京都千代田区西神田 2-7-8 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

<http://www.showa-corp.jp>

津田沼

つだぬま

新京成線と津田沼駅…千葉鉄道連隊の遺構

千葉には新京成線と呼ばれる私鉄が走っているが、特に津田沼には新京成のほか、JR、京成と複数の津田沼駅が存在している。そして新京成と言えば鉄道連隊！ 帝国陸軍の工兵部隊から派生した連隊の一であり、彼らの残した遺構は今でも千葉の広範囲に見ることができる（いわゆる鉄道連隊演習線といわれるもの）。そして新京成線は鉄道連隊が敷設した軍用鉄道が戦後、民間に払い下げられ、現在我々の日常の足として活用されており、これからもますます存在感を増していくと思う。

歴史は古く

近代戦においては兵員物資の輸送はインフラも担う大変重要な要素であり、明治政府は早くから鉄道兵の平時・有事での有効性に着目し、連隊は明治 28 年の日清戦争における臨時鉄道隊の編成から始まる。翌年には東京牛込に大隊が常設された。30 年には東京中野に転営、義和団事件の際は臨時鉄道隊を編成し、鉄道修理に従事した。日露戦争では臨時鉄道大隊を編成、出征し、各地で鉄道の建設、物資・人員の輸送に従事、戦後には連隊へと昇格した帝国陸軍鉄道連隊。そして日露戦争後、連隊の本拠地がかくいう千葉になる。千葉（現在の千葉市椿森町）に連隊本部、第一連隊、第二連隊、津田沼に第三大隊という陣容を誇った（途中、県内で何度か転営があった）。ちなみに JR 津田沼駅前に所在する、現在の千葉工業大学通用門は、移転前の旧鉄道第二連隊表門にあたる。

部隊が拡大・整備されていくにつれて、訓練の確保という必要に迫られた。そこで訓練・演習を兼ねた鉄道敷設が千葉県各所でおこなわれたのである。そのうち千葉から津田沼の演習線は明治 44 年に開通、同時期に作草部から四街道まで演習線が延伸した。そして津田沼から松戸まで約 26.5 km の演習線は昭和 7 年には完成し、現在も新京成線として運行されている。沿線周辺には今でも陸軍境界標石が残っているので、街中で発見できるかもしれない。

（東京グラフィックス事務局・吉野玲緒）



軍用津田沼駅と考えられる



路盤構築のようす

特集 データで読む「東京の印刷業」

「2016 東京の工業」経済センサス - 活動調査（平成 27 年工業統計相当集計結果）から

東京の「印刷・同関連業」 製造品出荷額等が 1 兆円割れ

平成 27 年は「工業統計調査」は行われず、平成 28 年に「経済センサス - 活動調査」が実施された。これを基に東京都は、「平成 27 年工業統計相当集計結果」をまとめた。

全事業所及び企業を対象とする「経済センサス - 活動調査」は今回で 2 回目。活動調査では、工業統計調査（製造業の従業者 4 人以上の事業所を対象に、事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額などを調査）の結果と一定の時系列比較ができるように、製造事業所について産業別の集計を行っている。「平成 27 年工業統計相当集計結果」は、活動調査の製造業に関する集計結果を基に、東京都分について取りまとめたもの。例年の従業者 4 人以上の事業所を対象に行われる「工業統計」とは異なり、従業者 4 人未満の事業所を含む全ての事業所を調査対象とした、より詳細なものとなっている。

本特集では、東京の工業の状況ならびに、東京の「印刷・同関連業」および「印刷業」の状況について、主要な項目について抜粋・報告する。

注)「平成 27 年工業統計相当集計結果」は、平成 28 年 6 月 1 日現在で実施した「平成 28 年経済センサス - 活動調査」の大分類 E 製造業について集計、編集したもの。「平成 28 年経済センサス - 活動調査」の製造業に関する集計は、工業統計調査（平成 27 年実績）に相当する。ただし、今回の調査結果は、これまでの工業統計調査と接続しない部分がある。

東京の工業全体の状況

事業所数は前回調査から大幅減 工業全般の縮小傾向が顕著に

概 略

東京の工業の概略は表 1 のとおり。

東京都の主要項目を前回の「平成 24 年経済センサス - 活動調査」と比較すると、事業所数は 7,737 事業所（△ 22.2%）、従業者数は 6 万 2,115 人（△ 17.3%）、製造品出荷

額等は 4,025 億円（△ 4.5%）、付加価値額は 3,293 億円（△ 8.9%）それぞれ減少している。

また、全国の他道府県と比較した東京都の順位は、それぞれ、事業所数が全国 3 位、従業者数が全国 7 位、製造品出荷額等が全国 14 位、付加価値額が全国 8 位となっている。

事業所数は、昭和 60 年以降概ね減少傾向にあり、平成 28 年 6 月 1 日現在の事業所数は、昭和 50 年以降で最も多い昭和 58 年（9 万 7,646 事業所）から 7 万 504 事業所（△ 72.2%）減少している。

従業者数は、昭和 50 年（107 万 4,010 人）以降毎回減少しており、昭和 50 年から 77 万 7,878 人（△ 72.4%）減少

表 1 東京の工業の概略

	平成 27 年	平成 23 年	増減数	増減率
事業所数	2 万 7,142 事業所	3 万 4,879 事業所	△ 7,737 事業所	△ 22.2%
	全国 3 位	全国 2 位		
従業者数	29 万 6,132 人	35 万 8,247 人	△ 62,115 人	△ 17.3%
	全国 7 位	全国 7 位		
製造品出荷額等	8 兆 5,452 億円	8 兆 9,477 億円	△ 4,025 億円	△ 4.5%
	全国 14 位	全国 10 位		
付加価値額	3 兆 3,819 億円	3 兆 7,113 億円	△ 3,293 億円	△ 8.9%
	全国 8 位	全国 7 位		

※事業所数及び従業者数については、平成 23 年（平成 24 年経済センサス - 活動調査）は平成 24 年 2 月 1 日現在、平成 27 年（平成 28 年経済センサス - 活動調査）は平成 28 年 6 月 1 日現在である。
※平成 27 年の製造品出荷額等及び付加価値額については、個人経営調査票による調査分を含まない。また、平成 23 年時点と平成 27 年時点では消費税率が異なるため、比較には注意が必要である。（平成 23 年時点は 5%、平成 27 年時点は 8%）

表 2 年次別 事業所数、従業員数、製造品出荷額等、付加価値額の状況（全事業所）

年 次	事業所数			従業員数			製造品出荷額等			付加価値額		
	実 数	増減数	増減率	実 数	増減数	増減率	実 数	増減数	増減率	実 数	増減数	増減率
	事業所	事業所	%	人	人	%	億円	億円	%	億円	億円	%
昭和 50 年	96,635	6,008	6.6	1,074,010	△ 25,537	△ 2.3	102,961	△ 3,663	△ 3.4	46,962	△ 1,167	△ 2.4
51 年	96,790	155	0.2	1,048,522	△ 25,488	△ 2.4	113,305	10,344	10	52,038	5,076	11
52 年	93,629	△ 3,161	△ 3.3	1,005,785	△ 42,737	△ 4.1	121,518	8,213	7.2	56,658	4,620	9
53 年	96,192	2,563	2.7	991,610	△ 14,175	△ 1.4	127,789	6,271	5	58,429	1,771	3
54 年	96,985	793	0.8	981,981	△ 9,629	△ 1.0	141,155	13,366	11	65,269	6,840	12
55 年	95,040	△ 1,945	△ 2.0	967,054	△ 14,927	△ 1.5	153,857	12,702	9	70,311	5,042	8
58 年	97,646	2,606	2.7	944,074	△ 22,980	△ 2.4	166,239	12,382	8	76,205	5,894	8
60 年	91,149	△ 6,497	△ 6.7	905,443	△ 38,631	△ 4.1	172,610	6,371	3.8	68,202	...	...
63 年	83,002	△ 8,147	△ 8.9	827,822	△ 77,621	△ 8.6	178,953	6,343	3.7	72,375	4,173	6
平成 2 年	78,190	△ 4,812	△ 5.8	801,893	△ 25,929	△ 3.1	204,394	25,441	14.2	81,999	9,624	13
5 年	70,958	△ 7,232	△ 9.2	720,525	△ 81,368	△ 10.1	176,746	△ 27,648	△ 13.5	69,851	△ 12,148	△ 14.8
7 年	66,108	△ 4,850	△ 6.8	658,106	△ 62,419	△ 8.7	169,914	△ 6,832	△ 3.9	68,582	△ 1,269	△ 1.8
10 年	66,610	502	0.8	631,400	△ 26,706	△ 4.1	165,350	△ 4,564	△ 2.7	65,664	△ 2,918	△ 4.3
12 年	60,217	△ 6,393	△ 9.6	561,763	△ 69,637	△ 11.0	152,630	△ 12,720	△ 7.7	60,428	△ 5,236	△ 8.0
15 年	49,580	△ 10,637	△ 17.7	467,210	△ 94,553	△ 16.8	116,259	△ 36,371	△ 23.8	48,057	△ 12,371	△ 20.5
17 年	44,709	△ 4,871	△ 9.8	430,466	△ 36,744	△ 7.9	110,994	△ 5,265	△ 4.5	47,877	△ 180	△ 0.4
20 年	40,137	△ 4,572	△ 10.2	404,917	△ 25,549	△ 5.9	104,819	△ 6,175	△ 5.6	39,523	△ 8,354	△ 17.4
23 年	34,879	△ 5,258	△ 13.1	358,247	△ 46,670	△ 11.5	89,477	△ 15,342	△ 14.6	37,113	△ 2,411	△ 6.1
27 年	27,142	△ 7,737	△ 22.2	296,132	△ 62,115	△ 17.3	85,452	△ 4,025	△ 4.5	33,819	△ 3,293	△ 8.9

注 1) 平成 27 年の数値は平成 28 年経済センサス - 活動調査の数値であるが、個人経営調査票を配布した事業所については、「事業所数」及び「従業員数」の項目は集計に含まれるものの、「製造品出荷額等」及び「付加価値額」の項目については、集計事項に含まれていない。

注 2) 平成 20 年以前の結果は工業統計調査の結果であり、平成 23 年及び平成 27 年の結果は経済センサス - 活動調査の結果である。

注 3) 事業所数及び従業員数は、平成 20 年以前は各年 12 月 31 日現在の数字であり、平成 23 年は平成 24 年 2 月 1 日現在、平成 27 年は平成 28 年 6 月 1 日現在である。製造品出荷額等及び付加価値額は、各年 1 年間の数字である。

注 4) 経済センサス - 活動調査の結果と工業統計調査の結果は、基準日、調査方法等に違いがあるため、比較には注意が必要である。

注 5) 消費税率は、平成元年から 3%、平成 9 年から 5%、平成 26 年から 8% となっている。各年において消費税率が異なるため、比較には注意が必要である。

注 6) 事業所数、従業員数及び製造品出荷額等の平成 12 年以前の数値は、「新聞業」「出版業」を除いた数値である。付加価値額の昭和 58 年以前の数値は、「新聞業」「出版業」を含んでいる。このため、昭和 58 年以前の数値は斜体で表示している。昭和 60 年から平成 12 年までは、「新聞業」「出版業」を除いているため、昭和 60 年の増減数及び増減率は計算していない。

注 7) 平成 19 年に調査項目の追加があったため、平成 17 年以前と平成 20 年以降の製造品出荷額等及び付加価値額との間に不連続が生じている。

注 8) 「従業員 10 ～ 29 人」の事業所については、平成 17 年までは、西暦末尾 0、5 年については「内訳調査」として、製造品の年初及び年末の在庫額、半製品及び仕掛品の年初及び年末価額並びに減価償却額について調査することで付加価値額を算出し、それ以外の年は粗付加価値額を算出していた。

図 1 事業所数、従業員数の推移（全事業所）

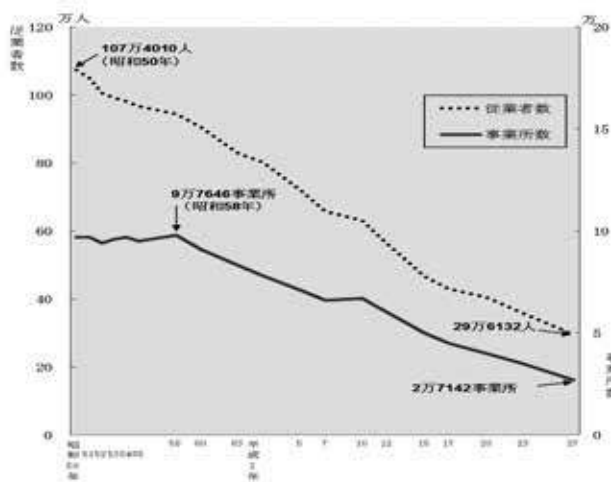
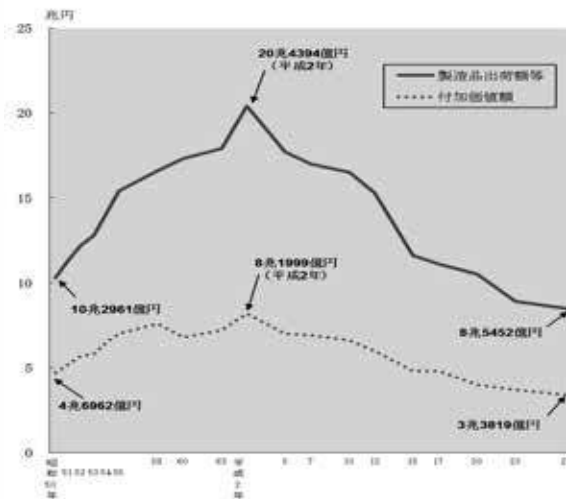


図 2 製造品出荷額等、付加価値額の推移（全事業所）



している。

製造品出荷額等と付加価値額は、ともに平成2年をピークに減少傾向が続いている。

製造品出荷額等は、平成2年（20兆4,394億円）から11兆8,942億円（△58.2%）、付加価値額は、平成2年（8兆1,999億円）から4兆8,180億円（△58.8%）それぞれ減少している。

産業中分類を「加工組立型産業」、「生活関連型産業」（印刷・同関連業はここに入る）、「基礎素材型産業」にまとめてみると、事業所数と従業者数は、それぞれ「生活関連型産業」が1万1,480事業所（構成比42.3%）、11万4,375人（同38.6%）と最も多いが、製造品出荷額等と付加価値額は、それぞれ加工組立型産業が4兆3,541億円（同51.0%）、1兆6,054億円（同47.5%）と最も多く5割程度を占めている。

従業者規模を4区分にわけてみると、「1～29人」の事業所数は、2万5,696事業所（構成比94.7%）で、全体の9割を超えているが、従業者数では、13万8,055人（同46.6%）、製造品出荷額等では、2兆1,061億円（同24.6%）、付加価値額では、1兆107億円（同29.9%）となっている。一方、「1000人以上」の事業所数は、17事業所（同0.1%）であるが、従業者数では、4万1,377人（同14.0%）、製造品出荷額等では、2兆6,797億円（同31.4%）、付加価値額では、9,675億円（同28.6%）となっている。

地域別にみると、区部は、事業所数が2万2,302事業所（構成比82.2%）、従業者数が17万6,300人（同59.5%）、製造品出荷額等が3兆6,002億円（同42.1%）、付加価値額が1兆5,825億円（同46.8%）となっている。市部は、事業所数が4,344事業所（同16.0%）、従業者数が11万1,266人（同37.6%）、製造品出荷額等が4兆5,815億円（同53.6%）、付加価値額が1兆6,995億円（同50.3%）となっ

ている。郡部は、事業所数が412事業所（同1.5%）、従業者数が8,202人（同2.8%）、製造品出荷額等が3,605億円（同4.2%）、付加価値額が982億円（同2.9%）となっている。島部は、事業所数が84事業所（同0.3%）、従業者数が364人（同0.1%）、製造品出荷額等が30億円（同0.0%）、付加価値額が17億円（同0.1%）となっている。

事業所数と従業者数では、区部が、それぞれ東京都の82.2%、59.5%を占め、多摩・島しょ（市部、郡部、島部の合計。以下同じ）（17.8%、40.5%）を上回っている。

一方、製造品出荷額等と付加価値額では、区部が、それぞれ東京都の42.1%、46.8%を占め、多摩・島しょ（57.9%、53.2%）を下回っている。

事業所数（2万7142事業所）

産業中分類別にみると、「印刷・同関連業」が4,256事業所（構成比15.7%）で最も多く、次いで「金属製品」が3,901事業所（同14.4%）、「生産用機械」が2,345事業所（同8.6%）となっている。

平成23年と比較すると、24産業全てが減少している。この24産業のうち減少数が最も多いのは、「印刷・同関連業」の1,717事業所（△28.7%）、次いで「金属製品」の1,030事業所（△20.9%）、「繊維工業」の662事業所（△26.6%）となっている。

従業者規模別にみると、「1～3人」が1万3,683事業所（構成比50.4%）で最も多く、次いで「4～9人」が8,040事業所（同29.6%）、「10～19人」が2,901事業所（同10.7%）となっており、この3区分で全体の9割以上を占めている。

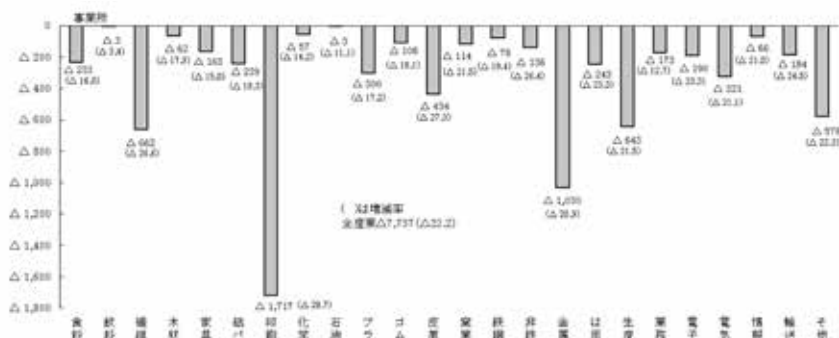
平成23年と比較して増加したのは、「500～999人」の5

図3 産業中分類別事業所数構成比（全事業所）



注）上位3産業に網掛けをしている。

図4 産業中分類別事業所数対前回（平成23年）増減数（全事業所）



事業所（31.3%）と「200～299人」の4事業所（8.9%）の2区分となっている。平成23年と比較して減少した9区分のうち減少数が最も多いのは、「1～3人」の4,532事業所（△24.9%）、次いで「4～9人」の2,202事業所（△21.5%）、「10～19人」の542事業所（△15.7%）となっている。

地域別にみると、区部が2万2,302事業所（構成比82.2%）、市部が4,344事業所（同16.0%）、郡部が412事業所（同1.5%）、島部が84事業所（同0.3%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が3,068事業所（同11.3%）で最も多く、次いで墨田区が2,154事業所（同7.9%）、葛飾区が2,131事業所（同7.9%）となっている。市部では、八王子市が991事業所（同3.7%）で最も多く、次いで青梅市が389事業所（同1.4%）、町田市が277事業所（同1.0%）となっている。

従業者数 (29万6132人)

産業中分類別にみると、「印刷・関連産業」が5万495人（構成比17.1%）で最も多く、次いで「食料品」が3万1,701人（同10.7%）、「電気機械」が2万5740人（同8.7%）となっている。

平成23年と比較して増加したのは、「ゴム製品」の1,526人（33.1%）、「石油・石炭」の36人（11.1%）の2区分となっている。平成23年と比較して減少した22産業のうち減少数が最も多いのは、「印刷・関連産業」の1万4,082人（△21.8%）、次いで「情報通信機械」の6,718人（△41.8%）、「金属製品」の5,826人（△20.5%）となっている。

従業者規模別にみると、「4～9人」が4万5786人（構成比15.5%）で最も多く、次いで「1000人以上」が4万1,377

人（同14.0%）、「10～19人」が3万9,468人（同13.3%）となっている。

平成23年と比較して増加したのは、「500～999人」の3,199人（29.7%）と「200～299人」の1,478人（13.6%）の2区分となっている。平成23年と比較して減少した9区分のうち減少数が最も多いのは、「300～499人」の1万4,174人（△58.2%）、次いで「4～9人」の1万2,650人（△21.6%）、「1～3人」の9,453人（△26.0%）となっている。

地域別にみると、区部が17万6,300人（構成比59.5%）、市部が11万1,266人（同37.6%）、郡部が8,202人（同2.8%）、島部が364人（同0.1%）となっている。区市町村別にみると、区部では、大田区が2万4,920人（同8.4%）で最も多く、次いで板橋区が1万6,133人（同5.4%）、足立区が1万5,605人（同5.3%）となっている。市部では、八王子市が1万5,599人（同5.3%）で最も多く、次いで日野市が1万4,691人（同5.0%）、府中市が1万3,797人（同4.7%）となっている。

従業者就業形態別構成比をみると、「正社員、正職員等」が73.1%、「パート・アルバイト等」が19.1%、「出向・派遣受入者」が4.7%、「個人事業主及び無給家族従業者」が3.1%となっている。

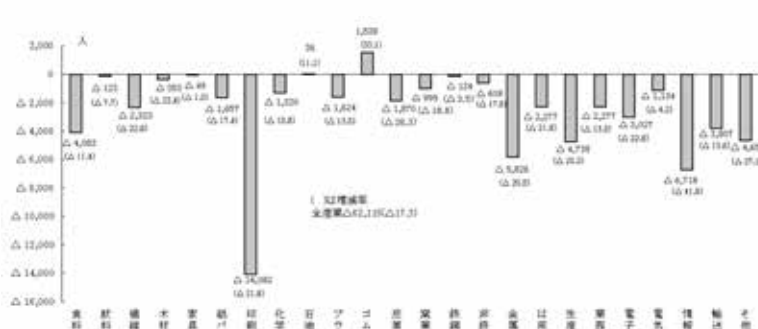
産業中分類別に就業形態別の割合をみると、「正社員、正職員等」の割合が最も高いのは、「石油・石炭」の86.2%となっている。「正社員・正職員等」は、「食料品」（42.1%）を除く全産業で従業者の5割以上となっている。「パート・アルバイト等」の割合が最も高いのは、「食料品」の51.6%、「個人事業主及び無給家族従業者」の割合が最も高いのは、「皮革・同製品」の17.5%、「出向・派遣受入者」の割合が最も高いのは、「輸送用機械」の11.5%となっている。

図5 産業中分類別従業者数構成比（全事業所）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図6 産業中分類別従業者数対前回（平成23年）増減数（全事業所）



製造品出荷額等 (8兆5,452億円)

図7 産業中分類別製造品出荷額等構成比（全事業所）



注) 上位 3 産業に網掛けをしている。

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が1兆6,086億円（構成比18.8%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が9,948億円（同11.6%）、「電気機械」が8,175億円（同9.6%）となっている。

平成23年と比較して減少した16産業のうち減少額が最も多いのは、「印刷・同関連業」の2,391億円（△19.4%）、次いで「情報通信機械」の1,473億円（△17.5%）、「はん用機械」の1,391億円（△44.8%）となっている。平成23年と比較して増加した8産業のうち、増加額が最も多いのは、「輸送用機械」の2,528億円（18.6%）となっている。

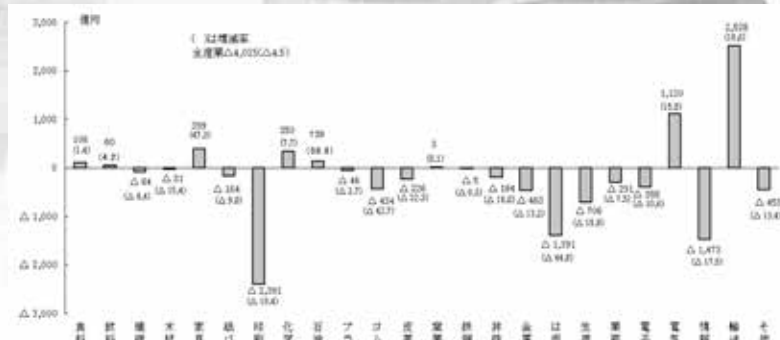
従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆6,797億円（構成比31.4%）で最も多く、次いで「50～99人」が8,490億円（同9.9%）、「30～49人」が8,315億円（同9.7%）となっている。

平成23年と比較して増加したのは、「30～49人」の2,201億円（36.0％）と「500～999人」の1,033億円（26.2％）と「200～299人」の798億円（18.8％）と「1000人以上」の487億円（1.9％）の4区分となっている。

平成23年と比較して減少した7区分のうち減少額が最も多いのは、「300～499人」の3,664億円（△52.4％）、次いで「20～29人」の1,072億円（△15.9％）、「10～19人」の1,010億円（△11.9％）となっている。

地域別にみると、区部が3兆6,002億円（構成比42.1%）、市部が4兆5,815億円（同53.6%）、郡部が3,605億円（同4.2%）、島部が30億円（同0.0%）となっている。区市町村別にみると、区部では、大田区が5,088億円（同6.0%）で最も多く、次いで板橋区が3,914億円（同4.6%）、江東区が3,836億円（同4.5%）となっている。市部では日野市が

図8 産業中分類別製造品出荷額等対前回（平成23年）増減数（全事業所）



注) 個人経営調査票で把握した事業所は除く。

8,112億円（同9.5％）で最も多く、次いで府中市が7,710億円（同9.0％）、羽村市が6,786億円（同7.9％）となっている。

付加価値額 (3兆3,819億円)

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が6,218億円（構成比18.4%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が4,618億円（同13.7%）、「電気機械」が3,249億円（同9.6%）となっている。

平成23年と比較して減少した17産業のうち、減少額が最も多いのは、「印刷・同関連業」の1,304億円（△22.0%）、次いで「はん用機械」の995億円（△58.8%）、「電子・デバイス」695億円（△47.7%）となっている。平成23年と比較して増加した7産業のうち増加額が最も多いのは、「情報通信機械」の717億円（64.9%）となっている。

従業者規模別にみると、「1000人以上」が9,675億円（構成比28.6%）で最も多く、次いで「10～19人」が3,508億円（同10.4%）、「30～49人」が3,268億円（同9.7%）となっている。

平成23年と比較して増加したのは、「30～49人」の666億円（25.6%）、「1000人以上」の650億円（7.2%）及び「200～299人」の159億円（9.7%）の3区分となっている。平成23年と比較して減少した8区分のうち減少額が最も多いのは、「300～499人」の1,356億円（△46.6%）、次いで「4～9人」の698億円（△18.6%）、「10～19人」の571億円（△14.0%）となっている。

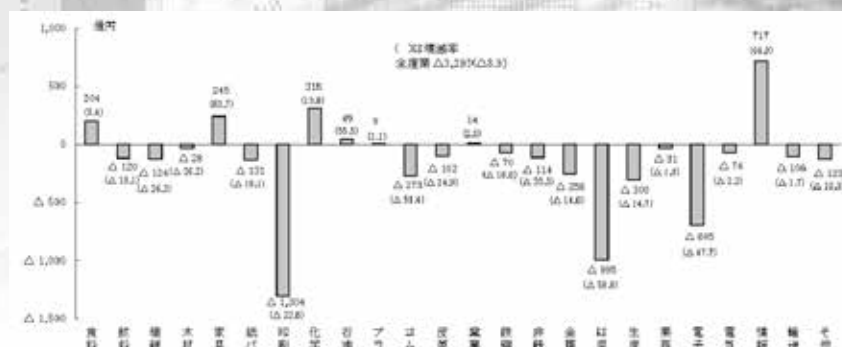
地域別にみると、区部が1兆5,825億円（構成比46.8%）、

図9 産業中分類別付加価値額構成比（全事業所）



注) 上位 3 産業に網掛けをしている。

図 10 産業中分類別付加価値額対前回（平成 23 年）増減数（全事業所）



注) 個人経営調査票で把握した事業所は除く。

市部が1兆6,995億円（同50.3%）、郡部が982億円（同2.9%）、島部が17億円（同0.1%）となっている。区市町村別にみると、区部では、大田区が2,181億円（同6.5%）で最も多く、次いで江東区が1,838億円（同5.4%）、墨田区が

1,726億円（同5.1％）となっている。市部では、日野市が4,564億円（同13.5％）で最も多く、次いで羽村市が2,259億円（同6.7％）、昭島市が1,985億円（同5.9％）となっている。

東京の「印刷・同関連業」の状況

退潮傾向が急加速 業態変革・生産性向上が急務

事業所数 (4,256 事業所)

東京の「印刷・同関連業」の事業所数は4,256事業所で、東京全体2万7,142事業所の15.7%を占めており、産業別の第1位。前回調査の平成23年5,973事業所と比較すると、1,717事業所（△28.7%）減と、一気に3割弱も減らしている（全産業中ワースト1位）。

「印刷・同関連業」4,256事業所の内訳を産業小分類別にみると、「印刷業」2,980事業所（平成23年4,112事業所）、「製版業」308事業所、「製本業、印刷物加工業」893事業所、「印刷関連サービス業」75事業所。

ちなみに「印刷業」を産業細分類で見ると、「オフセット印刷業（紙に対するもの）」2,307事業所、「オフセット印刷以外の印刷業（同）」321事業所、「紙以外の印刷業」352事業所となっている。

従業員数 (5万495人)

東京の「印刷・同関連業」の従業者数は5万495人で、東京全体29万6,132人の17.1%を占めており、産業別の第1

表3 印刷・同関連業（産業小分類・産業細分類）の事業所数・従業者数・製造品出荷額等・付加価値額（全事業所）

産業小分類 産業細分類	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	付加価値額 (万円)
印刷・同関連業	4,256	50,495	99,476,556	46,183,748
印刷業	2,980	37,257	83,801,438	36,816,786
オフセット印刷業（紙に対するもの）	2,307	30,823	73,439,296	31,700,642
オフセット印刷以外の印刷業（〃）	321	3,567	6,436,387	3,205,771
紙以外の印刷業	352	2,867	3,925,755	1,910,373
製版業	308	6,184	8,832,788	4,991,463
製本業、印刷物加工業	893	6,223	5,766,169	3,695,424
印刷関連サービス業	75	831	1,076,161	680,075

表4 東京の「印刷・同関連業」および「印刷業」の事業所数・従業者数・製造品出荷額等・付加価値額の推移（平成以降）（全数調査）

		事業所数				従業者数				製造品出荷額等				付加価値額			
		印刷・同関連業		印刷業		印刷・同関連業		印刷業		印刷・同関連業		印刷業		印刷・同関連業		印刷業	
西暦	平成	実数	前回調査比	実数	前回調査比	実数	前回調査比	実数	前回調査比	実数	前回調査比	実数	前回調査比	実数	前回調査比	実数	前回調査比
1990	2年	13,201	—	7,764	—	130,810	—	84,295	—	274,579,290	—	218,021,738	—	121,193,305	—	84,976,420	—
1993	5年	12,160	-7.9%	7,212	-7.1%	124,389	-4.9%	81,336	-3.5%	255,447,069	-7.0%	202,497,511	-7.1%	116,939,723	-3.5%	82,435,668	-3.0%
1995	7年	11,436	-6.0%	6,813	-5.5%	116,286	-6.5%	75,592	-7.1%	242,868,173	-4.9%	192,208,651	-5.1%	111,775,087	-4.4%	78,916,878	-4.3%
1998	10年	12,033	5.2%	7,261	6.6%	118,142	1.6%	76,679	1.4%	205,761,054	-15.3%	177,233,387	-7.8%	115,777,170	3.6%	81,046,007	2.7%
2000	12年	10,673	-11.3%	6,678	-8.0%	104,319	-11.7%	68,641	-10.5%	219,073,591	6.5%	174,735,029	-1.4%	100,567,354	-13.1%	71,144,746	-12.2%
2003	15年	8,872	-16.9%	5,667	-15.1%	92,513	-11.3%	61,825	-9.9%	188,335,079	-14.0%	153,441,524	-12.2%	86,100,187	-14.4%	63,266,916	-11.1%
2005	17年	7,867	-11.3%	5,073	-10.5%	83,467	-9.8%	55,909	-9.6%	172,797,164	-8.3%	140,653,232	-8.3%	74,586,993	-13.4%	54,122,558	-14.5%
2008	20年	6,984	-11.2%	4,543	-10.4%	75,575	-9.5%	49,782	-11.0%	157,769,145	-8.7%	124,664,084	-11.4%	67,717,325	-9.2%	48,105,449	-11.1%
2011	23年	5,973	-14.5%	4,112	-9.5%	64,577	-14.6%	47,238	-5.1%	123,385,211	-21.8%	104,598,859	-16.1%	59,221,601	-12.5%	48,270,595	0.3%
2016	27年	4,256	-28.7%	2,980	-27.5%	50,495	-21.8%	37,257	-21.1%	99,476,556	-19.4%	83,801,438	-19.9%	46,183,748	-22.0%	36,816,786	-23.7%
ピーク時との差と増減率		-8,945	-67.8%	-4,784	-61.6%	-80,315	-61.4%	-44,079	-54.2%	-175,102,734	-63.8%	-134,220,300	-61.6%	-75,009,557	-61.9%	-48,159,634	-56.7%

注1) 平成23年からは、「経済センサス-活動調査」が実施されたため、「工業統計調査」が中止された。従って平成23年度以降の数値は、「経済センサス-活動調査」の結果を集計し直した数値である。事業所数及び従業者数は、平成20年以前は各年12月31日現在の数値であり、平成23年以降は各年2月1日現在の数値である。製造品出荷額等及び付加価値額は、各年1年間の数値である。「工業統計調査」と「経済センサス-活動調査」とは、基準日、調査方法等に違いがあるため、比較には注意が必要である。

注2) 平成13年以前の数値は、「新聞業」「出版業」を除いた数値である。

注3) 平成19年に調査項目の追加があったため、平成18年以前の製造品出荷額等及び付加価値額との間に不連続が生じている。

注4) 従って、「ピーク時との差と増減率」は目安であって、正確な実態を表すものではない。

位。平成23年6万4,577人と比較すると1万4,082人（△21.8%）減と、これも一気に2割強も減らしている（全産業中ワースト1位）。

「印刷・同関連業」5万495人の内訳を産業小分類別にみると、「印刷業」3万7,257人（平成23年4万7,238人）、「製版業」6,184人、「製本業、印刷物加工業」6,223人、「印刷関連サービス業」831人。

ちなみに「印刷業」を産業細分類で見ると「オフセット印刷業（紙に対するもの）」30,823人、「オフセット印刷以外の印刷業（同）」3,576人、「紙以外の印刷業」2,867人。

「印刷・同関連業」の1事業所あたり従業者数は11.9人（平成23年10.8人）で、東京の平均10.9人より若干上回る。小分類の「印刷業」1事業所あたり従業者数は12.5人（平成23年11.5人）、「製版業」20.1人、「製本業、印刷物加工業」7.0人、「印刷関連サービス業」11.1人。細分類の「オフセット印刷業（紙に対するもの）」は13.4人、「オフセット印刷以外の印刷業（同）」11.1人、「紙以外の印刷業」8.1人となっている。

製造品出荷額等 (9,948億円)

東京の「印刷・同関連業」の製造品出荷額等は9,948億円、東京全体8兆5,452億円の11.6%を占めており、平成23年に引き続き産業別の第2位。とはいえ、ついに1兆円の

大台を割りこんだ。平成23年1兆2,339億円と比較すると2,391億円（△19.4%）の2割近い急減となった（全産業中ワースト1位）。

「印刷・同関連業」9,948億円の内訳を産業小分類別にみると、「印刷業」8,380億円（平成23年1兆460億円）、「製版業」883億円、「製本業、印刷物加工業」577億円、「印刷関連サービス業」108億円。

ちなみに「印刷業」を産業細分類で見ると「オフセット印刷業（紙に対するもの）」7,344億円、「オフセット印刷以外の印刷業（同）」644億円、「紙以外の印刷業」393億円。

「印刷・同関連業」の1事業所あたり製造品出荷額等は2億3,373万円（平成23年2億658万円）と前回調査より2,715万円（13.1%）増加したが、東京の工業の平均3億1,483万円を8,110万円（25.8%）も下回る。

1事業所あたり製造品出荷額等を小分類でみると、「印刷業」2億8,121万円（平成23年2億5,437万円）、「製版業」2億8,678万円、「製本業、印刷物加工業」6,457万円、「印刷関連サービス業」1億4,349万円と、東京の工業の平均と比較していずれも低水準だ。細分類の「オフセット印刷業（紙に対するもの）」は3億1,833万円となっている。

「印刷・同関連業」の1従業者あたり製造品出荷額等は1,970万円（平成23年2,066万円）と2,000万円台を割りこみ、東京の工業の平均2,886万円を916万円（31.7%）

も下回る。

1従業者あたり製造品出荷額等を小分類で見ると、「印刷業」2,249万円（平成23年2,214万円）、「製版業」1,428万円、「製本業、印刷物加工業」927万円、「印刷関連サービス業」1,295万円。細分類の「オフセット印刷業（紙に対するもの）」は2,383万円となっている。

付加価値額 (4,618 億円)

東京の「印刷・同関連業」の付加価値額は4,618億円で、東京全体3兆3,819億円の13.7%を占めており、産業別の第2位。平成23年5,922億円と比較すると1,304億円（△22.0%）減少した（全産業中ワースト1位）。

「印刷・同関連業」4,618億円の内訳を産業小分類別にみると「印刷業」3,682億円（平成23年4,827億円）、「製版業」499億円、「製本業、印刷物加工業」370億円、「印刷関連サービス業」68億円。

ちなみに「印刷業」を産業細分類で見ると「オフセット印刷業（紙に対するもの）」3,170億円、「オフセット印刷以外の印刷業（同）」321億円、「紙以外の印刷業」191億円。

「印刷・同関連業」の1事業所あたり付加価値額は1億851万円（平成23年9,914万円）で、東京の工業の平均1億2,460万円を1,609万円（12.9%）下回る。

1事業所あたり付加価値額を小分類で見ると、「印刷業」1億2,355万円（平成23年1億1,739万円）、「製版業」1億6,206万円、「製本業、印刷物加工業」4,138万円、「印刷関連サービス業」9,068万円。細分類の「オフセット印刷業（紙

に対するもの）」は1億3,741万円、「オフセット印刷以外の印刷業（同）」9,987万円、「紙以外の印刷業」5,427万円となっている。

「印刷・同関連業」の1従業者あたり付加価値額は915万円（平成23年917万円）で、東京の平均1,177万円を262万円（22.3%）も下回る。

1従業者あたり付加価値額を小分類で見ると、「印刷業」988万円（平成23年1,022万円）、「製版業」807万円、「製本業、印刷物加工業」594万円、「印刷関連サービス業」818万円。細分類の「オフセット印刷業（紙に対するもの）」は1,028万円、オフセット印刷以外の印刷業（同）」899万円、「紙以外の印刷業」666万円となっている。

*

東京の工業全体が縮小している中で、「印刷・同関連業」は前回調査（平成23年）から今回調査（平成27年）の4年間で、「事業所数」が約3割減、「従業者数」「製造品出荷額等」「付加価値額」が約2割減と、全産業中ダントツで退潮傾向にあるのは深刻といわざるを得ない。

また、かねて指摘されていることだが「印刷・同関連業」は産業の規模が大きい割に、1事業所あたり・1従業者あたりの付加価値額が、比較的低水準であるといえる。

単なる製造業・受注産業としての「印刷・同関連業」からの脱却を図るとともに、労働集約型の業態を変革して生産性を向上させることが、業界あげての急務となっている。

今、よく売れています!! (常備在庫品)

プリントバックオリジナルファイル
ピットインフリーファイルI・W
 風格のスタンダード(貼表紙)

PF-I・W

品番 PF120 PF130 PF140 PF150 PF160 PF180
 標準価格 900円 990円 990円 1,040円 1,140円
 ※いずれも、1箱10部入(販売単位)(税別)

A4タイプ

品番 PF120 PF130 PF140 PF150 PF160 PF180
 標準価格 1,490円 1,490円 1,540円 1,590円 1,640円 1,740円
 ※いずれも、1箱10部入(販売単位)(税別)

ピットインフリーファイルII
 高級感のある3面自在の使いやすさ
 (塩化ビニール) A3タイプ 品番 PF120A3 PF130A3 PF150A3
 (PF-II) 価格表 標準価格 3,280円 3,280円 3,380円

A3タイプ (横型)

オーダー数量により割引料金となります。ご相談ください。

営業品目 ●ファイル・バインダー ●証書入れ ●メニュー ●プラスチックカード ●ホットスタンプ (箔押) ●クリアホルダー ●機関紙ファイル ●社内報ファイル ●手帳 ●スーパークリスタルカレンダー ●表紙・製本(ペーパーリング・タンザック・ツインリング・セルリング・スパイラルリング) ●W箔押 《オリジナル品》ピットインフリーファイルI ダブル・II

箱押名入れクリアホルダー

激安 15.7円 (5,000枚製作)

【自社工場だから】
高品質 短納期
【最短3日間】

数量(枚)	単価	価格	納期
100	85.0円	8,500円	3日間
200	49.4円	9,880円	
300	38.5円	11,550円	
400	31.7円	12,680円	
500	27.7円	13,850円	
1,000	22.5円	22,500円	4日間
2,000	20.2円	40,400円	
3,000	17.8円	53,400円	
5,000	15.7円	78,500円	
10,000	15.3円	153,000円	5日間

※クリアーの価格です。色物は@4UP ※消費税は別途申し受けます。【初回のみ版代3,400円】(税抜)
 箔押の版サイズは50cm²以内となっております。デザインは完全データ(イラストレータ8.0~CS6)にてご支給下さい。

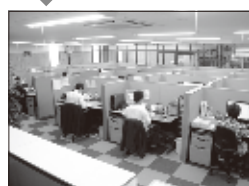
株式会社 **プリントバック** TEL 03-3821-2151
 〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-3 FAX 03-3821-8115
 E-mail info@printbag.co.jp URL http://www.printbag.co.jp/

Hcomの ワンストップサービス

学術書組版からスタートしたハイコムは、その技術を生かし
現在、編集・DTPから印刷・製本・配送の
流通までを一貫して受注できる体制を整えています。



企画・編集



DTP



CTP



POD



LED-UV 印刷



PP 加工



製本



仕分・梱包



流通

美しい
確かな
本造り



Hcom

美しい文字の故郷

www.hcom.co.jp

2017年度
JAGRA

作品展
受賞

全国中小企業団体中央会会長賞
「うんこかん字（漢字）ドリル 小学1～6年生」

Hcom

ご相談窓口：03-3235-4441

日本ハイコム株式会社

〒112-0014 文京区関口 1-19-2

TEL：03-3235-4441 FAX：03-5261-7070



責任ある森林管理
のマーク



16190212



No.E1776-ISO14001



CM002

本社

〒399-0651 長野県塩尻市大字北小野 4724

TEL：0263-56-2111 FAX：0263-56-2424

低価格!

高品質!!

短納期!!!

菊四裁4色機
菊半裁4色機

小ロット

カラー印刷

特 急 便

**経験豊富な技術力で
高品質印刷物をご提供します!!**

安心価格

価格表を明示。本格オフセット印刷で納得の低価格を実現しました。

短納期

「間に合わない!」と思う前にご相談ください。ご要望に沿って尽力いたします。

**各種用紙
に対応**

薄紙から厚紙印刷まで幅広く対応いたします。

**お見積り
迅速対応**

明確なお見積り明細を迅速にご提出致します。

DTP

データの不備を可能な限り見つけてアドバイスをいたします。修正も可能な範囲で対応いたします。

**カラー
マネジメント**

カラーマネジメントシステムの確立で高品質な印刷が可能に。

**植物性インキ
使用**

通常のカラー印刷は環境に優しい植物由来のインキを使用。

**各種後加工
対応**

ニス引き印刷やPP貼、折り加工や各種製本加工に幅広く対応します。

**仕分・配送
まで一括で**

製本加工はもちろん、仕分・配送まで一括で承ります。

部数が少なくて
頼みづらい?
そんなことはありません!
小ロット大歓迎です。
お気軽にどうぞ。



株式会社 **旭洋社**

〒113-0001 東京都文京区白山 1-19-14

TEL: 03-3818-2311

FAX: 03-3814-2937

http://www.kyokuyo-sha.co.jp

E-mail: info@kyokuyo-sha.co.jp

ご案内図



【最寄り駅】地下鉄三田線白山駅(白山下口)下車徒歩4分





営業のための道しるべ

お客様がひそかに感動する瞬間

(株)ビジネスコミュニケーション研究所 代表取締役 田中 信一



◆ お客様を「見る目」の大切さ

「お客様満足」と「お客様感動」とを比べて、どちらが上か下かを考えるのは野暮…というものだし、「お客様満足を目指す」とか、「お客様感動を目指す」というのも、何か偉そうでしょくない。

しかし、これだけは言える。お客様は“全く期待してなかったこと”を、われわれから“さりげなく提供された時”に、小さく、そしてひそかに感動する。

ポイントは以下の3つ。誰にでも、いつでもできる。

① 他の印刷会社はここまでやってくれない（差別化営業）

印刷物を作るだけでなく、“使える印刷物”を一緒に考え、“効果的な使い方”を教えてくれ、“使った後まで関心を持ってくれた時”、お客様はひそかに感動する。

印刷物を作るのは、どこの印刷会社でもできるが、“考える”ことをしてくれ、そして“使い方”と“結果”に寄り添ってくれと、値引きを求める理由が見当たらなくなる。何故なら、このような関係は“業者”ではなく、“同僚（仲間）”と同じだからだ。営業の世界で「差別化営業」といわれるのは、われわれから見た差別化ではなく、お客様から見た同業他社の営業パーソンとの違い（差別化）のことだ。

② わかってくれていると思える（共有・共感営業）

お客様の業務やビジネスを勉強することでお客様の苦労や悩みを理解できるようになり、お客様が共有と共感を感じた時、お客様はひそかに感動する。

お客様のさまざまなことを理解している営業パーソンとの会話は、自然に話が弾む。お客様は自分たちの業務やビジネ

スを理解している営業パーソンと会話できることは、お客様にとって意義ある時間だし、相談しやすい。われわれにとっても自社のさまざまな実績を応用できるメリットがある。

「共有・共感営業」とは、単に“相づち”を打ち、同意しているフリをすることではなく、お客様の業務やビジネスについて、少しばかり質問ができ、自分なりの意見が言えることである。

③ いつも先がけてやってくれる（先手営業）

お客様から言われる前に、お客様がやろうとしていることを先がけて提案できたり、困ったなと思っていたことの解決策を提示してくれた時、お客様はひそかに感動する。

お客様から依頼されてから、迅速に対応する「速さ」ではなく、お客様よりも少しだけ先に行動する「早さ」のことだ。「そろそろ毎年固定客に送るダイレクトメールの準備を開始されると思って、今年のデザイン案を作成してみました…」と提案して、「来週話そうと思っていたけど、先を越されたね…」と言われたら大したものだ。

先手営業のことを、別名「提案営業」という。

日常何気なくおこなわれているお客様との接点で、印刷のプロとして作り方と使い方の知見を発揮し、お客様の課題や悩みに寄り添い、言われる前にこちらから話しかけることで、お客様は日々ひそかに感動する。感動はひそかなので、いちいちわれわれには伝えてくれないが、必ずご褒美がある。情報が届き、相談があり、発注が増える。

お客様がひそかに感動する瞬間、それは営業パーソンのお客様を「見る目」次第なのである。

パスワードの定期変更「不要」について ～英数記号混交で10桁以上を推奨～

4月10日に（一財）日本情報社会経済推進協会（JIPDEC）は、プライバシーマーク付与の審査基準からパスワードの定期的な変更を不要とする審査基準見直しを発表しました。これは、総務省、内閣府など複数の公的機関が定期的な変更に関する方針見直しが行われた結果です。

■総務省「国民のための情報セキュリティ
サイト」から抜粋・改編
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/

総務省から「利用するサービスによっては、パスワードを定期的に変更することを求められることもあります。実際にパスワードを破られアカウントが乗っ取られたり、サービス側から流出した事実がなければ、パスワードを変更する必要はありません。むしろ定期的な変更をすることで、パスワードの作り方がパターン化し、簡単なものになることや、使い回しをするようになることの方が問題となります。定期的に変更するよりも、機器やサービスの間で使い回しのない、固有のパスワードを設定することが求められます」との表明がありました。

この方針変更は、2017年に米国・国立標準技術研究所（NIST）^{（※1）}が発表した最新のガイドラインに準じたもので、パスワードを定期変更する必要はなく、流出時に速やかに変更する旨が示されているからです。

【設定と管理のあり方】

他人に自分のユーザアカウントを不正に利用されないようにするには、適切なパスワードの設定と管理が大切です。

適切なパスワードの設定・管理には以下の要素があります。

◆安全なパスワードの設定

安全なパスワードとは、他人に推測されにくく、ツールなどで割り出しにくいものを言います。

- ①名前などの個人情報からは推測できないこと
- ②英単語などをそのまま使用していないこと

- ③アルファベットと数字が混在していること
- ④適切な長さの文字列であること
- ⑤類推しやすい並び方やその安易な組合せにしないこと

逆に、危険なパスワードとしては、以下のようなものがあります。このような危険なパスワードが使われていないかどうか、チェックをするようにしましょう。

- ①自分や家族の名前、ペットの名前
yamada, tanaka, taro, hanako（＝名前）
19960628, h020315（＝生年月日）
tokyo, kasumigaseki（＝住所）
470, 1297（＝車のナンバー）
ruby, koro（＝ペットの名前）
- ②辞書に載っているような一般的な英単語
password, baseball, soccer, monkey, dragon
- ③同じ文字の繰り返しやわかりやすい並びの文字列
aaaa, 0000（＝同じ文字の組み合わせ）
abcd, 123456, 200, abc123（＝安易な数字や英文字の並び）
asdf, qwerty（＝キーボードの配列）
- ④短すぎる文字列
gf, ps, am

この他、電話番号や郵便番号、生年月日、社員コードなど、他人から類推しやすい情報やユーザー ID と同じものなどは避けましょう。

◆パスワードを複数のサービスで使い回さない（定期的な変更は不要）

また、パスワードはできる限り、複数のサービスで使い回

さないようにしましょう。あるサービスから流出したアカウント情報を使って、他のサービスへの不正ログインを試す攻撃の手口が知られています。もし重要情報を利用しているサービスで、他のサービスからの使い回しのパスワードを利用していた場合、他のサービスから何らかの原因でパスワードが漏洩してしまえば、第三者に重要情報にアクセスされてしまう可能性があります。

なお、利用するサービスによっては、パスワードを定期的に変更することを求められることもあります。実際にパスワードを破られアカウントが乗っ取られたり、サービス側から流出した事実がなければ、パスワードを変更する必要はありません。むしろ定期的な変更をすることで、パスワードの作り方がパターン化し簡単なものになることや、使い回しをするようになることの方が問題となります。定期的に変更するよりも、機器やサービスの間で使い回しのない、固有のパスワードを設定することが求められます。

また、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）から、パスワードを定期変更する必要はなく、流出時に速やかに変更する旨が示されています（※2）。

※1：NIST SP800-63B（電子的認証に関するガイドライン）

※2：<https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html>



■内閣府「ネットワークビギナーのための情報セキュリティハンドブック」から抜粋・改編

国のサイバー攻撃対策を担う内閣府サイバーセキュリティセンターが、2017年12月18日に発行した「ネットワークビギナーのための情報セキュリティハンドブック」Ver. 3.00には詳細な解説があります。参照してください。

◆パスワードの安全性を高める

攻撃者のサイバー攻撃には、ターゲットの使用機器をマルウェアに感染させるものの他に、なんらかの方法でIDとパスワードを解明し対象を乗っ取るものもあります。

パスワードは、機器購入時のものをそのまま利用して見つけれられる、なんらかの手段であなたのパソコンなどから流出するほか、ウェブサービス側が保管しているものが流出して使われる「リスト型攻撃」、文字の組み合わせを全て試す「総当たり攻撃」、パスワードによく使われる文字列を試す「辞書攻撃」などにより、探し当てる方法があります。

総当たり攻撃を防ぐには、探し当てるまでにかかる時間を膨大にするのが一番の防御手段で、それには1桁の文字の種類か桁数そのものを増やします。

たとえば数字だけなら1桁10通りしかありませんが、英字を入れると36通り、英大文字小文字を入れると62通り、これに26文字の記号を入れると88通りになります。また桁を増やせばこれが累乗で増えていくわけです。

総当たり攻撃はいつかは成功するのですが「時間がかかり事実上不可能な状態」にするため、ログインパスワードであれば英大文字小文字+数字+記号混じりで10桁以上を安全圏として推奨します。しかし、より長くして安全性を高めるにこしたことはありません。

<英大文字小文字+数字+記号混じりの組み合わせ数>

アルファベット(大)+アルファベット(小)+数字+記号(例)

$$26 + 26 + 10 + 26 = 88$$

※「ログインに使うパスワードは、英大文字小文字+数字+記号で10桁以上」の理由

・数字のみだと→100億通り

・英大文字小文字+数字+記号混じり（26個として）だと→約2,785京97兆6,009億通り

1秒5回の制限で「総当たり攻撃」をした場合、全部を試すまでに約1,760億年かかります。これほど多量な組み合わせを調べるのは事実上不可能です。

◆パスワードを適切に保管する

使い回しをせずに十分な複雑さと長さを持ったパスワードは、総当たり攻撃では突破されにくくなりますが、適切に管理していないために、別の方法で盗まれてしまっただけではありません。

たとえばパソコンや壁に貼ってあれば、誰かがそれを見て覚えてしまいますし、ファイルにまとめておけばマルウェアに感染した時に流出し、多くのアカウントが一気に乗っ取られるかもしれません。

パソコンでウェブブラウザに覚えさせる「オートコンプリート」機能も要注意です。あなたが席を離れた隙に、誰かがブラウザでサービスを利用してしまうかもしれませんし、ノートパソコンならば本体ごと盗まれることもあります。パスワードは基本的に利用する場所で保管してはいけません。

しかし、多くのサービスで複雑なパスワードを設定したら、とても覚えることはできません。ではどうしたらいいでしょう。

一つはパスワードを管理する手帳に書いてパソコンとは別に管理する方法、もう一つはスマホのパスワード管理アプリで管理する方法です。なお後者の場合、クラウドでデータを保管する機能の利用は熟考し、セキュリティホールが発見されたアプリは利用しないことをおすすめします。それは他人の手元に安易にIDやパスワードを保管することや、流出の危険が逆に増すことを意味するからです。

利用するところで保管するべきでないなら、スマホでもパスワードを使う場合リスクはありますが、こういったアプリは後述のPINコードや指紋認証+暗号化で情報がガードされます。盗まれても落としても、簡単に他人が使ったりすることはできません。

ただ管理しているパスワードは、必ずバックアップするのを忘れないようにしましょう。落としたスマホが戻るとは限りませんから。

※「PINコード」とは、Personal Identification Numberの略で“個人を識別する番号”という意味で4～8桁の番号からなっており、第三者がSIMカード（端末）を無断使用できないようにロックするためのもの。

◆「PINコード」と「ログインパスワード」に求められる複雑さの違い

前項では機器やサービスを利用するとき、「ログインパスワード」として、英大文字小文字+数字+記号混じりで少なくとも10桁以上を推奨しました。

一方、同様に使う「PINコード」は、メーカーが数字のみの4桁や6桁で良いとしています。

この2つは、両方とも機器やサービスを利用する時に使用するのに、求められる長さや複雑さに差があるのはなぜでしょうか。

そもそもパスワードに「複雑さ」が求められる理由は、攻撃者が制限のない状態でパスワードの文字列を総当たりで試すと、時間はかかるにせよ「必ず探り当てることが可能」だからです。これはどんな複雑な「ログインパスワード」や「暗号キー」でも変わりません。

こうやって力わざでパスワードを探り当てた攻撃を「総当たり攻撃（ブルートフォース攻撃）」と呼びます。「ログインパスワード」や「暗号キー」を守る第一歩は、いかにこれを成功させないかにあります。

スマホの「PINコード」の場合は、数回間違えると「入力遅延」と言って一定時間「PINコード」を入力できないよう

にし、さらに「10回間違えば以降PINコード入力不可にする（ロック）」、「場合によっては機器を初期化する（ワイプ）」することで「総当たり攻撃」を不可能にし、攻撃者による不正利用を防ぎます。

さらに厳しいキャッシュカードなどでは3回間違えると、以降カードが利用できなくなりますが、これも同じ考え方です。

「PINコード」では、こういった制限を設けることで「総当たり攻撃」を出来なくし、4桁や6桁の数字であっても攻撃者から機器やサービスを守るのです。

一方「ログインパスワード」は、通常「PINコード」のようにワイプなどをする機能がついていることはほぼありません。数回失敗すると入力遅延を起こすなどのペナルティを受ける場合もありますが、ペナルティがないものも多いのです。

この「ログインパスワード」は、ウェブサービスのログインページや、パソコンやIoT機器のログイン画面に入力するもので、こういった入力画面ではネット経由でログインを試みる場合、どう頑張っても1秒に数回～数十回程度しか入力することが出来ず、これだけで実質的に高速な攻撃を防ぎます。

【参考】

JIPDECのPMS実施のためのガイドライン変更について

項目＝識別情報の設定及び利用は、ルールに従っていること。

プライバシーマークの以前の審査基準では、安全管理の望ましい手法例として、①パスワードの有効期限を設定している。との記載があったため、付与事業者様は、例えば「英数混交6ケタならば半年毎に、8ケタならば1年毎に変更する」ように運用を行っていました。

それが、4月10日以降は、①最低パスワード文字数を設定している。②パスワードの設定方法（文字、数字、記号を必ず混ぜて設定する等）を定めている。③一定回数以上のログインに失敗したIDの停止等の措置を講じている。④パスワードの設定変更をする場合には、類似パスワードの再利用を制限している。⑤複数のサービスで同一のパスワードを使い回さないことを求めている。⑥漏えいした、または漏えいのおそれがあるパスワードは、速やかに変更することを求めている。——と変更になりました。

よって、パスワードの定期的な変更はプライバシーマークの審査基準から除外されましたが、個々の企業によって、従前通り定期的変更を行うことを妨げるものではありません。

「エグゼクティブStyle」



第4回 CAに好かれるタイプと嫌われるタイプの決定的な違い

株式会社TFSマナー&EDUCATION 代表取締役 山本洋子

好きか嫌い。多かれ少なかれ誰もが持つ感情です。好き嫌いの対象となるものは、食べ物であったり、人であったり、物事であったり様々です。ビジネスにおいて、好きか嫌いかを基準にして物事を進めることはあまりにも短絡的ではありますが、最終的に決断を下す基準となるのは、意外と単純に好きか嫌いかで決めてしまうことが多いのかもしれませんが。

好き嫌いは自分を主体とした感情ですが、自分が人に好かれるか嫌われるかということになると少し話が違ってきます。同じことを言っても相手に不快感を与えて嫌われてしまう人もいれば、全く嫌われず、むしろ人気者になるタイプの人もいます。

航空機には色々なお客様が乗られます。今回は決してお客様には見せることのないCAが一息つけるギャレーと呼ばれる飛行機の台所の中で密かにささやかれている、CAに好かれるタイプと嫌われるタイプの違いについてのお話です。



絶対的に好かれる条件は3つ… 「笑顔」「挨拶」「言葉」です

☆「笑顔が素敵」

これはいうまでもありませんが、性別、年齢、国籍を問わず、笑顔が素敵なお客様は当然目をひきます。

会話中や会話の最後、要所要所で微笑みを返してくださるお客様はCAのあいだでは話題になります。

そんなお客様は少し特別扱いされることが多々あります。

例えばルートインフォメーションといわれるご案内です。最近の機内サービスの傾向として、できる限りお客様の邪魔をしないということが最優先されています。その配慮の一つが機内アナウンスです。現在はほとんどの飛行機に個人テレ

ビが付いていますが、機内アナウンスが流れると個人テレビは映画、ゲームなどすべてのプログラムが一旦中断されます。その中断を防ぐためアナウンスを極力しないという傾向にあるのです。これが何を意味するのかというと、アナウンスで窓の外に見える景色のご案内ができないということです。

路線や季節によって、窓の外には素晴らしい景色が広がっています。例えば冬場のヨーロッパ便や北米便で見えるオーロラ。以前は、オーロラが見えると必ずアナウンスでご案内していたのですが、最近ではアナウンスは行いません。

サービス精神旺盛なCAとしては、滅多に見られないオーロラが見えたときにはお客様にもご覧いただきたい、という気持ちが働きます。そこでどうするか！ 個別にご案内するのです。ご案内する対象といえば、やはり「笑顔が素敵」なお客様が優先です。正直なところ、終始仏頂面のお客様には声は掛けづらいものなのです。「笑顔が素敵」だとCAに好かれるだけでなく、お得なこともいっぱいあるのです。

☆「挨拶」

これも当然なのですが、「ありがとう」をきちんと声に出して返すお客様は間違いなくCAには好かれます。小さなことに対しても、誰に対しても「ありがとう」と普通に言える方は意外と少ないのです。日々多くのお客様に接して、人を見る目が鍛えられているCAは、そこは見逃しません。

「ありがとう」をさらりと言うお客様はギャレーの中では人気の的となっているのです。

一方で嫌われるタイプはその逆ということになるのですが、さすがに「挨拶」をしないというだけでは嫌われません。CAに最も嫌われるタイプは、なんと言ってもクレーマーです。お客様に喜んでいただきたい、機内ではゆっくりとおく

つろぎいただきたいと願っている CA ですので、お客様が少しでも不愉快な思いをしたり、ご不便をお掛けしたりした場合には真摯に謝罪します。

しかしそうではないクレーム、明らかに嫌がらせのようなクレームを言うお客様には、CA も警戒します。例えばミールチョイスに希望ものがなくなっていた場合。食事も搭載数に限りがありますので、全員が希望する食事を召し上げれるとは限りません。人気メニューはすぐになくなりますので、お断りせざるを得ないケースは頻繁に起こります。こちら希望にそえず申し訳なく思っているのですが、ないものは仕方ありません。丁重にお詫びをし、あるものをおすすめするのですが、納得がいかないお客様は大クレームです。

私が経験した中で一番印象に残っているのが、ニューヨークから東京に帰る便で最初にお出しする食事でご希望の和食がなくなってしまったことに対するクレームです。「他の人が食べているのに何故自分だけ和食がないんだ！」と大クレームの末、ハンガーストライキ状態に突入。14時間のフライト中一切の食事を拒否されたお客様がいらっしゃいました。

いつも「お客様は神様です！」という気持ちを持ってサービスしていましたが、そのお客様が悪魔に見えた瞬間でした(笑)。どうにもすることができないことに対して必要以上にクレームすると、不名誉なレッテルを貼られてしまうのです。

☆「言葉」

言葉遣いが丁寧ということと、言葉のセンスがあるということと。

往々にしてエグゼクティブは言葉遣いが丁寧であり、誰に対してもきちんとした敬語で話されます。特にファーストクラスに乗られるお客様は CA に対しても常に敬語です。決して横柄に上から目線で話しかけたりはしません。CA に好かれるタイプは共通して言葉遣いが丁寧です。

その上、言葉にセンスがあるかどうか重要です。つまり「も」と「は」と、「で」と「が」の使い分けができるかどうか！「今日はありがとう」よりも「今日もありがとう」、「それでいいよ」よりも「それがいいよ」なのです。

何気なく発している言葉一つにしても、相手に与える印象は全く違ってきます。そんなつもりはなくても、言葉一つで相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまったり、傷つけてしまったりするのです。些細なことですが、好かれるタイプの方は、単語一つ、言葉一つの選び方にセンスがあります。

お食事を伺う際にも、「ステーキでいいよ」ではなく、「ス

テーキがいいな〜」なのです。相手の気持ちをやわらげ、相手を元気にさせる会話ができるお客様を CA が放っておくはずがありません。

CA に好かれるタイプと嫌われるタイプの違い、いかがでしたか？ 機内で知り合ったお客様と結婚した CA も多くいます。最初の出逢いで彼女たちの心を掴んだのは、素敵な笑顔だったり、普通に返って来る「ありがとう」の挨拶だったり、心が穏やかになるような束の間に交わす会話なのです。

CA に限らず、人に好かれるということは相手に媚びへつらうことではありません。あなたを好きでいてくれる目の前の相手は、あなたと接することで明るく前向きな気持ちでいられるのです。人に好かれるということは、相手の気持ちも和らげ、元気にする、そんな力があります。

人には嫌われるより、好かれたほうが、自分にとっても相手にとってもいいことがたくさんあるのです。

【ご案内】

株式会社 TFS マナー & EDUCATION では毎月第三水曜日(18:30~21:00)、経営者限定の講座「エグゼクティブSTYLE」を開催しております。様々な業界で活躍する女性を講師に、毎回旬なテーマを取り上げた講座です。講座後はワイン片手に経営者同士の交流を深めていただきます。

次回8月22日、テーマは「社員の気持ちがわかるようになる！コミュニケーションの極意」です。

知的好奇心の刺激に是非お越しください。

こちらからお申込できます↓

https://peraichi.com/landing_pages/view/executivestyle

山本 洋子
(株)TFSマナー & EDUCATION
代表取締役

25年間大手航空会社にて勤務。チーフパーサーとして世界中のVIPを接客し、教官として1200名以上のCAを育成、サービスアドバイザーとして6000名のCAの指導を行う。その後外資系保険会社でFPとして営業に携わる。一流の接客マナーと営業経験に基づいた独自のメソッドで実践的かつ効果的な研修を行う。





医療法人社団 同友会 理事長

高谷典秀先生のなんでも健康相談 ⑥4

はく ばん しょう

白板症の症状と原因

口の内側に白っぽい部分ができました

しばらく前から口の中に違和感があり、鏡で見ると口の内側に白っぽくなっている部分がありました。歯磨きをしても落ちません。この白いもののせいか、最近では味覚も落ちてきたように思えます。少ししびれているような気もします。

歯磨きは毎日きちんと行っており、歯だけではなく、口全体、舌の上、上あご、頬の内側までブラッシングしているのですが、改善しません。

白っぽいだけで鋭い痛みなどはありませんので、口内炎とも違うように思えます。原因が分かりますでしょうか。

耳鼻科や歯科医で検査を受けてください

今回は口の中が部分的に白くなっているという、ご高齢の方からのご相談です。

口腔にまつわる病気は数多くの種類があり、とくに高齢になると様々な口腔内トラブルにみまわれます。40歳以上に行われる歯科検診で高齢者の口腔内病変の有無を調査したところ、3割近くの方に虫歯や歯周病以外の所見があるという結果もあるほどです。

口の中にできる病変として有名なのは口内炎ですが、その場合は通常、痛みがあったり、発生場所が非常に限局することが多いので、今回の症例は口内炎とは違うようです。

あなたの症状からすると、ご高齢の方に多い白板症であると推察されます。これは口の中に白い板状、あるいは斑状の病変ができる病気です。

この白くなっている部分というのは、細胞の角化が亢進している状態です。口腔内表面の細胞が何らかの刺激を受けて

おり、その刺激が原因で細胞が異常に増殖してしまっているのです。

白板症の原因は様々ありますが、ひとつは、歯の噛み合わせが悪かったり、合わない入れ歯を装着していたりして、口腔内に物理的な刺激を与え続けている場合です。歯と歯をかみ合わせる頬の内側や舌の側面、あるいは入れ歯を支える金具が触れている歯肉にでやすいです。この場合は歯科医にて歯の治療を行ったり、入れ歯の調整を行うなど、刺激の原因を取り除くことで改善します。

もうひとつは、過度な飲酒や喫煙など、化学的な刺激が白板症の発生に関係するとも言われており、この場合はそれらを控えて生活習慣を改善することが必要になります。

その他に、カンジダをはじめとした感染症が原因となっている場合もあります。口腔カンジダ症といって、一種のカビの菌が感染し、口の中に白っぽい白苔^{はくたい}というものが付着する場合があります。この白苔は、初めのうちはブラッシングなどで除去することが可能なのですが、長く放置していると取れなくなってしまう、その感染自体が刺激になり、白板症へ移行することもあります。この場合はまず口腔内の粘膜から菌の感染があるかどうかを調べ、感染が原因であれば抗菌剤などを用いた治療を行います。

注意しなければならないのは、数パーセントの確率で、この白板症からがんに発展する場合がありますといわれていることです。白い部分が急に多くなったり、平らだった部分に凹凸ができたり、そういった変化があれば要注意です。

口の中の異常というものは本人でも気付かないことが多いのですが、今回はご自身でお気づきになられたということで、ぜひ耳鼻科や歯科医などで検査を行って原因を調べていただき、早めに治療されることをおすすめいたします。



リフレッシュ・タイム

パソコン利用時の健康管理 ④

腰痛解消体操



パソコン作業は常に同じ姿勢で行うため、腰痛になりやすく、約5割の人に症状がみられます。腰痛の危険性は、パソコン作業時間が長くなるにつれて増します。パソコン作業の長い人は、以下のことに気を付けましょう。

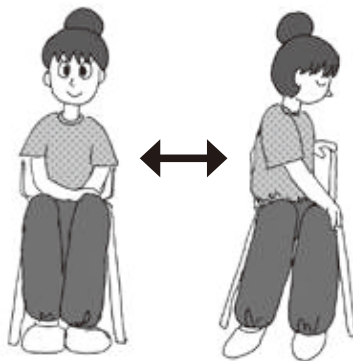
- (1) 休憩時間を定期的にとる。
- (2) 腰に負担がかからないように背もたれの付いた椅子を使用する。
- (3) 椅子の高さを足裏全体が床に付くように設定する。
- (4) 軽い体操を実施する。

今回はパソコン作業時にもできる腰痛解消体操をご紹介します。



①大腿後側のストレッチ

片方の足を前に伸ばし、上体を前に倒す。左右10秒ずつ行う。



②ひねって正面

上半身をひねり、正面に戻す。左右交互に行う。



③股関節のストレッチ

片足を逆の足上に乗せ、上体を徐々に前に倒す。左右10秒ずつ行う。

あなたの健康管理、私たちにお任せください

協会けんぽ、全国印刷工業健康保健組合ほか
各種健康保健組合様の健診も承ります。

— 東京グラフィックス工業会共済会会員様のお得な人間ドック —

	一般価格	会員価格
人間ドックAコース日帰り	53,000円＋税	39,500円＋税



人間ドック・健診とその後の健康管理を
高い医療技術と安心できる空間で
ご提供いたします。



経鼻内視鏡機器を揃えた
内視鏡センター新設



女性スタッフだけによる 画像診断センター新設
レディース健診フロア



再検査・精密検査
専門外来フロア新設



医療法人社団 **同友会**
春日クリニック

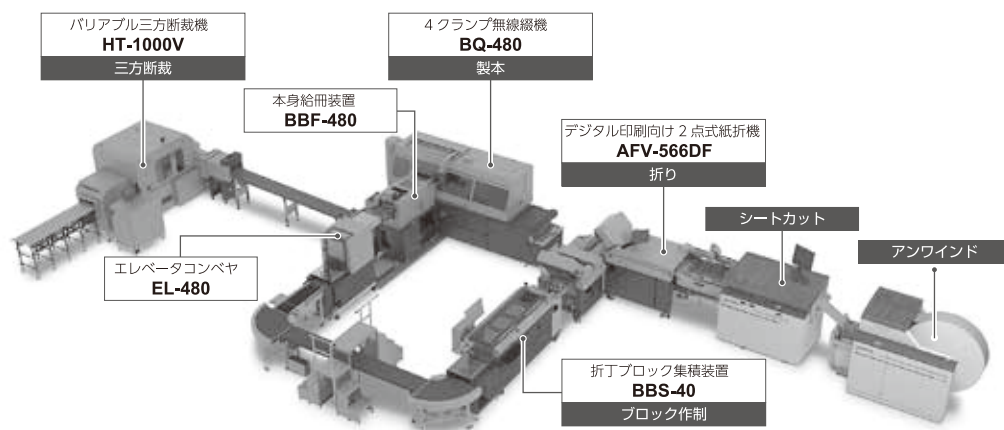
東京都文京区小石川1-12-16TGビル
TEL03 (3816) 5840 FAX03 (3814) 0004
<http://www.kasuga-clinic.com/>

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



Smart Binding System デジタル印刷向け書籍製本システム

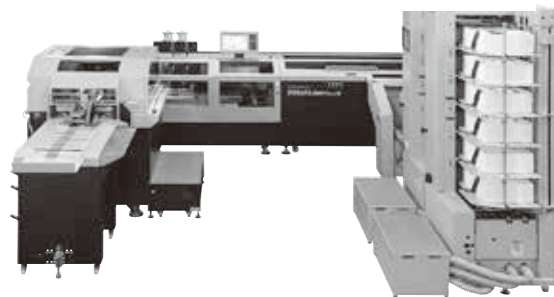
ロール紙対応で、仕上がりサイズに合わせた効率的な面付けを可能とする中小ロット向け製本システムです。



ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム

StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



自動無線綴機4クランプタイプ BQ-480

セット替えの高速化による、小ロット、パリアブル製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるパリアブル製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



PUR
対応

全油圧断裁機 APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



www.horizon.co.jp

株式会社 東テク

〔本社〕
〒132-8562 東京都江戸川区松江5-10-9
TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083

〔東北営業所〕
〒984-0002 仙台市若林区卸町東1-7-31
TEL.022(782)2821(代) FAX.022(782)3068

〔システムデザイン営業部〕

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360

株式会社 西コンサル

〔本社〕
〒601-8206 京都市南区久世大薮町510
TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025

〔九州営業所〕
〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17
TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112

他業界の事例を“まねる”セミナー&各種補助金情報

キヤノンマーケティングジャパン(株)は6月20日(水)午後2時から、港区のキヤノンSタワーにおいて、iP カレッジを開催した。同カレッジは、同社が定期的に開催しているセミナーと見学会。今回は「他業界の事例を“まねて”突破口を開く!~“うまくまねする”方法とは~」と題し、講師に(株)ビジネスリノベーション代表取締役の西村佳隆氏を招き、異業種から学ぶ成長領域の探求をおこなった。さらにセミナー後半では氏が得意とする行政の各種補助金の取り方について解説があった。

ビジネスリノベーションの役割として「面白いことを生み出す・仕掛ける」といったことが挙げられるが、言葉で言うほど簡単ではない。既存事業の活性化、新規事業の立ち上げ、それらのプロデュースを得意とする氏は、他業界の知恵こそ変革のスパークプラグになると説く。「いい芸術家は模倣し、偉大な芸術家は盗む」(ピカソ)、「独創性とは考え抜かれた模倣だ」(ヴォルテール)の言葉を例に挙げた。フィリップ・コトラーの競争地位戦略では量的経営資源(投入資金額、販売拠点数、営業担当者数、生産規模、生産能力等)、そして質的経営資源(技術力、マーケティング力、ブランドイメージ、経営者のリーダーシップ等)のマトリックスを参考に、まねて安くつくことは、質量資源とも最小でまかなえる。模倣戦略はいかにコストパフォーマンスを重視するかにかかっている。

まねるといっても具体的にどのようにまねるのか。氏は1. そのまままねる、2. うけているポイントを抽象化して

まねる、3. いったん抽象化したものをまねる、の3つを挙げた。カレッジでは、空欄の表を用いて、「統合、目的、上位概念、コンセプト化」をキーワードとして、例題をもとに実際に抽象化を実践した。

まねた後の展開として、まねて他の要素を組み合わせる、まねずに反対のことをする(逆張り)を挙げた。まねる+差別化を図った事例として、ライドシェアの配車アプリUberを日本交通がまねて、配車アプリサービスを実施している。Uberは乗用車の一般ユーザー向けサービスだが、日本交通社は自社で配車を運用するモデルに転換している。

後半は平成30年度のものづくり補助金を中心として、行政の補助金の解説がされた。今期のものづくり補助金は総額1,000億円とされており、昨年の760億円から約3割増しになっている。1社あたりの補助額は1,000万円で、想定採択社数は10,000社。補助率は2分の1になるので、例えば2,000万円を使うと1,000万円戻ってくるという仕組み。

採択のポイントとして、氏は機資材購入先のメーカーから機能・性能、特徴を教えてもらい、それを延々と紹介するような計画は避け、革新性と独自性、具体的には購入した機械設備と自社の強みを融合させて、いかに革新的な事業展開ができるかを書くことを挙げた。またテーマ名称の表現にも注力すべきと説いた。いずれにせよ、一般に出回っているテンプレートの計画では門前払いになるという。



講師の西村氏



カレッジのようす

● 設立 30 周年記念祝賀会を挙行

110 人が参集し、30 年を振り返る



あいさつする稲満会長



祝賀会のようす

東京グラフィックス青年部 FACE（稲満信祐会長）は5月10日（木）午後6時半から、東中野の日本閣において青年部設立30周年記念祝賀会を開いた。参加者はメンバー・来賓合わせ110人。

東京グラフィックスの青年部としては、FACEの前身である旧次世代の会が1987年6月20日ホテルエドモンドで設立された。次世代の会は8代の代表幹事、会長を数え、2010年6月9日にFACEに名称変更し、FACE会長は稲満会長で5代目になり現在に至る。FACEでは30周年行事の挙行にあたり、年初に実行委員会を立ち上げ、田村勉氏（文成社・文京）が委員長に就任し、委員十数人で準備を進めてきた。

20周年時は次世代の会として当時の山下会長が主催し、記念のクルーズパーティーを開いた。FACEは名称変更後、月1回の定例会を軸にジャグラー青年部 SPACE-21や他団体青年部と連携し、PRINT NEXT等の大きなイベント運営にも協力している。特にSPACE-21や都内印刷関連団体青年部の集まりである印刷産業青年連絡協議会への役員派遣をはじめ、人事交流も盛んにおこなっている。定例会では毎回ミニセミナーを設け、中小企業経営者としての研さんに励んでいる。定例会以外にも各行事には経営者に限らず、役員、社員もメンバーとして参加している。

会は金子よしえさんの司会で定刻通りスタート。FACEの紹介動画が放映された。最初に稲満会長の主催者あいさつの後、来賓から中村耀ジャグラー会長、菅野潔東京グラフィックス会長の祝辞があった。続いて東京青年印刷人協議会の青木允議長から乾杯の発声があり、宴に移った。しばし歓談の後、来賓紹介、SPACE-21からは本村豪経代表幹事からあいさつとジャグラー福岡大会の告知がされた。今回の祝賀会には日ごろ積極的に事業連携しているSPACE-21執行部、各県青年部会長、印刷産業青年連絡協議会執行部、マスターズ、加盟団体会長、メンバー、全国印刷緑友会が出席した。



乾杯の発声は東青協・青木議長から

歴代会長が二人羽織で奮戦

アトラクションは実行委員会が準備を進めるにあたって最も力を入れたコンテンツ。歴代会長の中から、山下英作8代（次世代）、中村盟初代（以下FACE）、齋藤秀勝2代、原田大輔3代、谷口高広4代の5名がステージに登壇。何をしてもわからず歴代5名は嫌な予感をしながらも、ステージに用意されたテーブルに横並びになり着席。その場で二人羽織をやると知らされ、アイマスクで状況が分からないなか目の前には熱々のおでん、クリームたっぷりのケーキ、そして牛乳がセットされた。羽織の後ろにはコンパニオンの女性が入ると思いきや、実行委員の男性5名と入れ替わった。

ダービー形式で、参加者は5名の内1名に投票し、自分が投票した歴代会長が1位になれば豪華景品が当たるという仕組み。スタートと同時に食材がごちゃまぜになって口に運ばれていく。そして同率1位の中村、齋藤歴代2名がじゃんけんで順位を決着、齋藤歴代が1位という結果になった。景品

はニンテンドースイッチ、ダイソン掃除機などが用意され、抽選で当選した各々が持ち帰った。

アトラクション後、この日祝賀会に参加している佐藤稔2代代表幹事、倉沢弘道3代代表、生田一彦7代代表、山下英作8代会長（以上次世代の会）、FACE 歴代会長が登壇し、稲満会長から先輩に対して感謝の言葉を述べ、記念品として製作した、FACE30周年ロゴ入りのサーモカップを贈呈した。

途中FACE歴代会長のインタビュー動画、FACEメンバーの一言スライド動画も上映された。

生田7代代表から中締めがあり、佐藤初代、倉沢3代、そして次世代OBの渡辺正晴さんから当時の話があり、思い出を振り返った。最後に3本締めで閉会となり、有志で近隣の二次会会場へ移動した。



SPACE 本村代表幹事



歴代会長に記念品を贈呈



大いに盛り上がった二人羽織



実行委員会メンバー

【悠遊クラブ】平成30年度総会開く

東京グラフィックス悠遊クラブ（今井茂雄会長）の平成30年度総会が、5月17日午後5時から神保町「學士会館」で会員ら14名が参加して開催された。悠遊クラブは、東京グラフィックス会員で65歳以上のメンバーで構成され会員相互の親睦と交流・研修、東京グラフィックスの諸行事に参加することを目的に平成11年に発足した。

総会では冒頭、今井会長から「近年、会員の逝去や体調のご都合で参加者が減ってきている。メンバーは今16名となっているが、今年は新しい幹事を加え活動したい」と挨拶があった。続いて議事では森田茂副会長から、平成29年度事業報告、決算報告、小林監査役の監査報告（代読）が提案、承認を受け、平成30事業計画・予算案の提案がなされ、いずれも承認された。今期の事業として、①懇親会の開催、②観劇会の開催、③機関誌の発行、その他東京グラフィックスの諸行事への参加等を計画した。役員の交代では谷忠明氏と井上富美子氏が新たに幹事に就任、江曾鶴一氏と小林伸三氏が退任された。来賓としてジャグラ中村耀会長、東京グラフィックス青木滋副会長が参加。両氏から挨拶があった。またジャグラ・マスターズクラブについて吉岡新会長から、設立の経緯から今後の活動について報告がなされ、東京の悠遊クラブとは趣旨がちがうので全国の仲間と一緒にマスターズクラブに参加して欲しい。と説明があった。

この後、添田隆男顧問の乾杯の音頭で懇親に入り、楽しいひと時を過ごした。

●参加者（敬称略・順不同）：今井茂雄、森田茂、中村耀、青木滋、添田隆男、川井捷一郎、金森延武、吉岡新、金子徹、谷忠明、幅和弘、水口長、井上富美子、斎藤成

【共済会・城東支部】潮干狩り & BBQに35名が参加

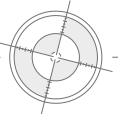
東京グラフィックス共済会（清水隆司代表幹事・綿貫勝夫幹事長）が主催し、城東支部（谷口理恵支部長）と共催した恒例の潮干狩り & バーベキュー大会が、梅雨明けしたばかりの6月30日（土）午前9時30分から、千葉県富津海岸で会員・従業員・家族35名が参加して開催された。昨年は「貝毒」の影響を心配して中止したが、今年は2年ぶりの開催となった。この日は梅雨明けの好天に恵まれ、早朝から大型バスでの参加者や企業・労働組合の団体も多く、アサリより人の方が多いのではと思われる大盛況の潮干狩り会場となった。

参加者は準備も良く、浜に繰り出し、網一杯に思う存分アサリと小さいながらハマグリもゲットした。12時からにはバーベキュー大会だが、会場の公園では城東支部の田中秀樹さんが早朝より準備万端整えて待機。早速、一同ホタテ、トウモロコシ、ピザを焼いてバーベキューを堪能した。調理は共済会役員の皆さんが奮闘され、参加者一同大いに交流を深めた。記念写真を撮って午後3時に解散となった。



参加者そろっての記念撮影

初めて参加したイナミツ印刷・稲満親子は「こんなに沢山獲れるとは思わなかった。息子は初めての潮干狩りだったが、とても喜んだのでよかった」と満足げで会場を後にされた。



【教育・技術委員会】第3回ビジネスマッチング・サロンも盛況

前期・教育委員会（笹岡誠担当副会長・谷口美保委員長）が主催する平成29年度最後のセミナー「第3回ビジネスマッチング・サロン」が6月19日（火）午後6時からニッケイビルにおいて開催された。今期は役員改選期に当たり、新委員会が始動するのが6月に入ってからになるため、セミナー事業が途切れないようにするため、また「東グラの宝実践部会」（中村盟部会長）が企画・提案した“会員のメリット”としてのビジネス交流を継続的に進めていくため、新年度にまたがっての開催となった。

プレゼンター5名、オーディエンス35名の計40人が参加した。第1部のプレゼン・PRタイムでは、「紙器・パッケージ」で大瀧印刷紙器(有)（文京支部）、「統合型業務効率化システム」で(有)京文社（文京支部）、「高品質書籍製作」で(株)緑陽社（三多摩支部）、「カード印刷」で(株)研美社（中央支部）の4社がプレゼンを行った。また、前回から賛助会員1社にもPRを行ってもらったこととし、今回はリョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)が IGAS2018のリョービ・ブースの見どころを紹介した。

その後、オーディエンスも1社1分の持ち時間で、全社が自社紹介を行った。

第2部は、会場はそのまま、軽食と飲み物を用意して懇親会を開催した。参加者は名刺交換を行い、お互いの会社の業務内容を聞くなどして交流を深めた。

第3回を迎えた今回も定員一杯の参加者があり盛況だった。このサロンは年に3～4回、定期的で開催していくこととなっており、次回は10～11月を予定している。

東政連総会開く 都、印刷物の最低制限価格制度導入で前進

東京都印刷政治連盟（森永伸博会長）の平成30年度通常総会が、6月5日午後4時から新宿・ハイアットリージェンシーで開催された。

森永会長からは、昨年の都議選の結果を総括し、「永年の課題だった都の印刷物入札について、自民党の尽力で最低制限価格制度が導入されることになり、試行案件が出てきた。これからも都の関係部局に働きかけもっと増やして欲しい。また都の助成事業である団体課題別人材力支援事業の認可も拡大した。他にも BCP 対応、メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）、東京オリンピック・パラリンピック関係で前進していきたい。なお、6年間務めた会長職を本総会で退任となる。永年のご協力に感謝したい」と挨拶した。

議事は、幅副会長を議長に、29年度事業報告は笹岡副会長から、印刷物最低制限価格制度の試行、印刷議員連盟との連携強化、機関紙「東政連ニュース」の3回発行、都議会自民党、民進党、公明党、都民ファーストの会への東京都への予算等要求の提出、自民党都連に対しては国政の要望提出、などの活動が報告された。536万円の決算報告、監査報告を承認した。役員改選では、木村会長と生井幹事長が新任され各団体で役員交代があったため、一部変更された。

30年度事業計画では、都政への要望として、①東京都発注印刷物の入札方法の改善、②官公需における知的財産権の取扱いの周知・啓発、③東京オリンピック・パラリンピックでの中小印刷業者への分割発注、④事業承継推進への支援、⑤中小規模企業の実態に即した融資・助成金等施策の運用、⑥ BCP 策定への取り組みに対する支援、⑦ MUD の採用・普及、⑧ダイバーシティ経営の取り組みへの支援、⑨人材不足（働き方改革）に対する支援、⑩ GP 認定制度の資格取得支援の拡充、を掲げた。さらに国政に対してはデジタル教科書の問題に対し紙媒体活用の促進、書籍・冊子への消費税軽減税率制度の適用を要望する。予算案では、696万円を計上した。

その後、各党の印刷議員連盟所属13名の議員、会員50名が参加し、懇親会が開かれた。会は斎藤副幹事長の進行で木村新会長挨拶の後、橋本副会長の乾杯の発声で宴に入り、来賓として3党の都議らが登壇、昨年の都議選への御礼、各種要望実現への協力、木村新体制への祝賀の挨拶があった。最後に森田副幹事長が締めの挨拶で閉会した。

【東京グラフィックスからの派遣役員】

副会長＝笹岡誠、副幹事長＝斎藤成、常任幹事＝綿貫勝夫、武川優、幹事＝9支部長

ジャグラ文化典福岡大会に 東京グラフィックスから53人が参加

◆ 役員改選で中村耀会長を再選

◆ 関東複写55社がジャグラに合流

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会（中村耀会長）は6月1～4日、福岡市で第60回ジャグラ文化典福岡大会を開催した。全国からジャグリスト350人（東京グラフィックス53人）が博多に参集した。

大会は1日の記念ゴルフ大会コンペ、ウェルカムパーティーを皮切りに、2日のマスターズクラブ総会、ジャグラ総会、文化典式典、懇親会、3～4日のオプションツアーというスケジュール。

メインの総会・式典・懇親会は、博多駅前のホテル日航福岡で開催された。

● ジャグラ定時総会

13時30分から第53回ジャグラ定時総会が開催された。冒頭、松永英明運営委員長があいさつに立ち、熊本地震への支援に対する感謝と、大会参加に対する歓迎の意を表した。

総会では、関東複写センター協同組合（斎藤隆正理事長）55社のジャグラへの入会が承認された。関東複写は当面、「地協」と同列でジャグラへ参加し、理事枠も1つ設けた。

役員改選では中村会長の続投が承認された。

中村会長は、「各支部からの意見に真摯に耳を傾け、各事業を見直す。中小印刷業にとって困難な時代だが、新しい技術・変革に柔軟に対応するジャグラの強みを活かし、他産業との協業を模索する。そのためにIoT等の研究を二期目の決意を述べる中村ジャグラ会長を進めるべくビジネス推進委員会を新設する。これからの2年間で実りある強いジャグラを作り上げていく」と続投の決意を示した。



二期目の決意を述べる中村ジャグラ会長

議事終了後、各種表彰が行われた。東京グラフィックスからは、組織拡大表彰（支部員数純増）を中央支部（中田逸郎支部長）と城東支部（谷口理恵支部長）が受けた。またジャグラBB特別表彰を、ビジコン！mini審査結果発表を生放送でチャレンジした「ビジコン！部会」（中田逸郎部会長）と、「ワザコレ！」を提供した㈱ケイスイ（小林佳之社長・文京支部）が受けた。また、退任役員への感謝状が、野田晃司理事、山崎泰監事、中村盟 SPACE-21 幹事に贈られた。

最後に「先人の意をくみ“強いジャグラ”にしよう」との大会スローガンを全員で斉唱し、定時総会は無事終了した。



ジャグラ新役員のみなさん

● 文化典式典

16時から文化典式典が開催された。

表彰では、東京グラフィックスからは、業界功労賞を川井信良氏（自費出版ネットワーク／㈱文伸・三多摩）と長谷川貴也氏（前城西支部長／長谷川印刷㈱）が受けた。また特別功労賞を故・増田光仁氏（前港支部長）が受けた（代理・鈴木将人港支部長）。優良従業員表彰では、タナカ印刷㈱（中央）の牛島正和氏が受けた。

ジャグラ作品展表彰では東京グラフィックスから、出版印刷物部門で経済産業大臣賞を㈱文伸（三多摩）、日本印刷産業連合会会長賞を㈱緑陽社（三多摩）、ジャグラ会長賞を恵友印刷㈱（新宿）、宣伝印刷物部門で経済産業大臣賞を望月印刷㈱（城東）、日本印刷技術協会会長賞を㈱サンワ（千代田）、ジャグラ会長賞を共立速記印刷㈱（文京）、業務用印刷部門で厚生労働大臣賞を日経印刷㈱（千代田）、全国中小企業団体中央会会長賞を日本ハイコム㈱（文京）、佳作を㈱大應（千代田）、開発開拓部門でニュープリンティング賞を望月印刷㈱（城東）が、それぞれ受賞した。

● 記念懇親会・東京グラフィックス二次会

18時から、記念懇親会が開催された。福岡・博多の料理や地酒が振る舞われ、参加したジャグリストは1年ぶりに旧交を温め、大いに盛り上がった。

また20時30分から、菅野会長の呼びかけで、ジャグラ大会の恒例となった東京グラフィックスの二次会が、博多駅10階の「ザッコ・アルポルト」で開催された。12人が参加した。博多の夜景が一望できるロケーションで、参加者はさらに熱く語りあかしていた。

「ビジコン!2018」等、今期事業がスタート

(公社)東京グラフィックサービス工業会(菅野潔会長)は6月28日(木)午後6時から平成30年度第2回の理事会を開催した(第1回は社団総会当日)。入退会の承認では4社の入会(㈱遊文舎・中央、㈱マトリックス・オーガナイゼーション・新宿、電算印刷㈱東京営業所・新宿、(有)鈴木商店・文京)があった一方で、退会が10社(㈱柏崎第一印刷・千代田、㈱倉田日東社・千代田、(有)ウメダフォトスタジオ・中央、(有)三和・中央、㈱ugo・新宿、トキア企画㈱・新宿、(有)共同センター・新宿、㈱パックウェル・文京、(有)アイ・シー印刷・城東、(有)あおき印刷・三多摩)あり、会員数は今回理事会で297社となった。賛助会員については入会2社(㈱キクミ、設楽印刷機材㈱)、退会が2社(FFGS グラフィックサプライ㈱、東新紙業㈱)あり、今回理事会で35社となった。

公益目的事業では個人情報関連において、個人情報保護法の改正、新JISに対応したプライバシーマークの基準について8月1日受付分から新基準での審査が開始される。個人情報保護委員会からは監査報告があった。

補正予算では前期黒字決算を受け、今期は赤字予算を組む形となった。当初の予算で前年度黒字分を特定費用準備資金として取り崩すことはせず、同資金等取扱規則については理事会で承認はしたが、今期は適用しないことになった。

事業進捗では、「ビジコン!2018」について説明があった。今期は10月6日の東グラフェスタ当日にプレゼンテーショ

ン大会・最終審査を実施する案があったが、スケジュールが非常にタイトなため、同日の開催にこだわらずに、所管の総務委員会が中心となって検討を重ねている。

○理事会議題

- ①公益目的事業
 - ・「個人情報保護」「環境・資源リサイクル」「文化の普及啓発」「雇用・人材育成」
- ②入退会の承認、加入促進
- ③平成30年度補正予算
 - ・特定費用準備資金取扱規則の制定
- ④平成30年度事業計画・事業執行体制・委員会組織
 - ・ビジコン2018
 - ・団体課題別人材力支援事業
 - ・東グラ出版会
- ⑤各委員会、支部、共済会、FACE、ジャグラ・日印産連報告
 - ・ホームページリニューアル
- ⑤スケジュール確認
- ⑥その他
 - ・生田一彦元副会長、相談役選任
 - ・田中秀樹前副会長、中央会表彰選定



理事会のようす



あいさつする菅野会長

委員会報告

第1回 総務委員会

■日時：6月26日（火）18:30-20:00

■場所：ニッケイビル8F 会議室

■出席（敬称略）：中村、大瀧、榎本、中川、宮地、大塚、只野、篠崎、比嘉、村井、原田（大）（斎藤、鈴木、吉野）

<議 事>

①委員会の任務・事業

◎所管事業

- ・都民向け広報・PR 活動
- ・ビジコン！2018の実施：ビジコン部会の設置
- ・組織の維持・運営と強化：会員向け広報（機関誌・HP 等）、加入促進・退会防止、総会〔5月後半〕・賛助会員懇談会〔11月〕の運営、新春賀詞交歓会〔1月21日予定〕の主催（運営は共済会）、小規模事業者支援（謹賀新年〔12月末〕・年賀状受注〔10月末〕ポスター制作、他）、その他総務全般

※「総務委員会」は、会員・都民一般向けの広報を所管。「広報・組織委員会」は、アウトサイダー（未入会の同業者・入会候補者）向けの広報活動を所管。

※「総務委員会」は主に「退会防止と組織の維持・強化」を扱う。「広報・組織委員会」は主に「加入促進・組織拡大」を扱う。

※「総務委員会」と「広報・組織委員会」は補完しあうが、事業が重複しないように両委員会での調整が必要。

◎その他スケジュール

- ・新 HP アップ：8月末
- ・新春賀詞交歓会チラシ・チケット等制作〔11月〕
- ・機関誌の印刷委託先選定：入札説明会〔12月〕、委託先の選定〔1月〕、リニューアル作業〔1～3月〕、リニューアル発行〔4月〕

②委員長の選任・役割分担・委員会の進め方について

委員の互選により、総務委員長は大瀧氏に決定した。以下、各所管事業の担当委員（○はリーダー）。下記に該当しない委員については、今後の事業展開を踏まえて担当を決める。

- ・ビジコン！：○田中委員、大塚委員、篠崎委員、大瀧委員長、

中村副会長

- ・機関誌：○只野委員、比嘉委員
- ・新年会チラシ・チケット・名簿：宮地委員
- ・謹賀新年・年賀状承りポスター：榎本委員
- ・賛助会員懇談会：会のあり方や方向性は四役会で決め、運営・設えは委員会で

③「ビジコン！2018」について画

プレゼン大会と最終審査を10月6日とすると、進行が非常にタイト。また、土曜開催は最終審査に東京都側が出席することが難しい。早急に大瀧委員長・中村副会長はじめビジコン担当委員で、10月6日を最終審査とすることにこだわらずに実現可能な日程・内容を検討し、次回理事会（28日）に提案することとした。理事会の確認後、回目の総務委員会で詳細を詰めていく。

◎プレゼン・最終審査日程を10月6日（土）（東グラフェスタ会場内）とした場合、逆算したスケジュール

- ・7/22 募集チラシ校了
- ・7/29 チラシ発送
- ・8/1 募集開始
- ・9/6 募集〆切
- ・9/10 一次審査

◎都知事賞の申請について

都知事を申請することを前提とするが、最終審査日が土曜とすると、審査会への東京都の出席が不可（前回も土曜開催だったため異例中の異例で、東京都抜きの最終審査会で都知事賞を決定→後日、都に確認）。都知事賞の下付を申請するのなら、土曜の最終審査は避けるべき。

5月1日

●第12回四役会

18:00～ ニッケイビル

議題／①スケジュール確認②総会運営・議事の確認③その他

出席／菅野、青木、笹岡、野田、田中、鈴木(将)、斎藤〔鈴木〕

5月7日

●個人情報保護監査

17:00～ ニッケイビル

出席／生田〔斎藤〕

★青年部 FACE 総会打ち合わせ・30周年記念祝賀会実行委員会
18:00～ ニッケイビル

5月9日

☆東京都中小企業団体中央会評議委員会

13:30～ 東京都中小企業会館
出席／斎藤

5月10日

★青年部 FACE30周年記念祝賀会

18:30～ 日本閣

5月12日

☆印刷産業青年連絡協議会総会

15:00～ 日本出版クラブ

出席／菅野、原田(大)、児玉、中村(盟)、斎藤(秀)、中田、大多和、松谷、佐藤、小林(佳)、田村、谷山〔吉野〕

5月13日

◎プライバシーマーク現地審査

日本シー・アンド・シー

〔渡部、斎藤〕

5月16日

■プライバシーマーク審査会

11:00～ ニッケイビル

内容／付与・更新審査

出席／野田、林田、中村(盟)、清水〔吉野、渡部、斎藤〕

5月17日

◎プライバシーマーク現地審査

大和プリント〔吉野、斎藤〕

5月23日

●平成30年度定時総会

16:30～ 日本教育会館

・16:30～ 共済会総会

・17:15～ 公益社団法人総会

・18:50～ 第1回理事会

・19:00～ 懇親会

議題／①平成29年度事業・決算・監査報告②30年度事業計画・予算③役員改選

総会出席／56人(委任状108人)

懇親会出席／90人〔事務局全員〕

●第1回理事会

18:50～ 日本教育会館

議題／代表理事と業務執行理事の選任

出席／菅野、笹岡、早坂、清水、中村、鈴木(将)、中田、大塚、谷口(美)、谷口(理)、児玉、原田、比嘉、青木、綿貫、斎藤、武川、落合、山手〔鈴木〕

5月24日

☆日本印刷産業機械工業会総会

17:00～ 東京プリンスホテル

出席／笹岡、斎藤

5月25日

★青年部 FACE30周年記念祝賀会実行委員会

18:00～ 文成社

◎プライバシーマーク現地審査

共立速記印刷〔渡部、斎藤〕

5月31日

◎プライバシーマーク現地審査

ピーアンドディーヒロサワ

〔吉野、斎藤〕

☆東京都中小企業団体中央会総会

13:30～ 秋葉原ダイビル

出席／菅野

※各支部・サークル等の総会は6月号に一括掲載

表紙の絵



歌川豊春 「邸内遊楽図」

板橋区立美術館蔵

※本作品は現在展示されていません。

◇ 板橋区立美術館のご案内 ◇

〒175-0092 東京都板橋区赤塚5-34-27

<http://www.itabashiartmuseum.jp/>

TEL.03-3979-3251 FAX.03-3979-3252

【お知らせ】

当館は、2019年6月頃まで改修工事のため休館します。

東グラ

月刊 東京グラフィックス

2018年7月号

Vol. 57 No. 701

■発行日 平成30年7月15日

■発行人 清水 隆司

■編集人 中村 盟

■発行所 東京グラフィックサービス工業会共済会

<http://www.tokyographics.or.jp>

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16

TEL.03-3667-3771 FAX.03-3249-0377

■年間購読料 12,960円（税・送料込み）

■印刷・製本 株式会社 中央支店

- ・組版ソフト：InDesign cs6, Illustrator cs6
- ・RIP（表紙）：Kodak トレンドセッター400
- ・RIP（本文）：SCREEN EQUIOS Ver.4.50 EQ019 EQ1
SCREEN Trueflow SE Ver7.30 TF359
- ・CTPセッター（表紙）：Trendsetter400 II QuantumAL
- ・CTPセッター（本文）：PT-R8900S
- ・CTP版（表紙）：FUJIFILM XP-F 19-03 633525
- ・CTP版（本文）：FUJIFILM XP-F 19-01 631943
- ・印刷機（表紙）：RMGT7 790
- ・印刷機（本文）：SpeedMaster SMK2-2P
- ・用紙（表紙）：ブライトーン菊判62.5kg
- ・用紙（本文）：b7バルキーA判38.5kg
- ・インキ（表紙）：女神インキ工業株式会社
- ・インキ（本文）：DICグラフィックス株式会社

【本誌の無断転載を禁ず】

KOMORI

高品位フルカラーデジタル印刷機

Impremia C Series

その仕事、
KOMORIのPODに
お任せください!

POD特設サイトにて
ラインアップ・活用事例を紹介中



D i g i t a l O n D e m a n d : T h e N e x t K o m o r i S o l u t i o n

株式会社 小森コーポレーション

本 社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

www.komori.com

印刷とDTPに精通したモトヤの強み

社会保険料・福利厚生費など固定費が不要な
貴社が必要とする印刷とDTPのプロフェッショナルを
必要なとき、必要な期間だけ派遣します。
求人・採用の手間も不要です。
お気軽にお問い合わせください。

MOTOYA

人材
派遣

導入実績100社以上!



見積／受注・制作・印刷・配送予定／加工
在庫／発注仕入／販売／原価システム
(ピーマン)

P-MAN Business e-Brain

今こそ、情報の見える化(MIS)を!

経営者に必要な利益管理の仕組創りをお手伝い

営業情報を正確に早く

制作・製造部門に伝えます。

生産性向上、ミス・ロス低減で利益向上

印刷業向け業務パッケージの決定版

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254／紹介事業許可番号 27-コ-030174

印刷のソリューションプロバイダー

株式会社 モトヤ

<http://www.motoya.co.jp/>

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)

大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 ☎(06)6261-1931(代)

横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

新エコプロジェクト 始動!

GREEN GRAPHIC PROJECT

富士フィルムは、お客さまと共に取り組む
環境保全活動をはじめました。

富士フィルムは、「カーボン・オフセット制度」の活用により、『SUPERIA 完全無処理サーマルCTPプレート』のCO₂排出量を全量オフセットし「カーボンゼロ化」する『Green Graphic Project』を開始しました。

カーボンゼロ・プレートで



カーボン・オフセット認証
A0376

- 印刷物の製作工程で発生するCO₂排出量の削減に貢献できます
- 開発途上国支援に貢献できます
- ローカーボン印刷物で差別化が図れます
- 新たなCSR活動としてPRできます

